

第57回京都コンテストコンテストレビュー

2013年2月2日(土) 20:00~2月3日(日) 16:00

京都コンテストは1.9MHzから5600MHzと幅広く各バンドで運用時間が区切られているため、どのような時間帯でどのバンドに参加するかが入賞の鍵になります。今回も、参加された局のサマリー情報を基に参加者の動向や統計的な資料を示し、また入賞の方々についてはログ情報を分析しました。更に、入賞の各局からは、コンテスト参加時のノウハウ等をコンテスト参戦記として寄稿して頂きました。

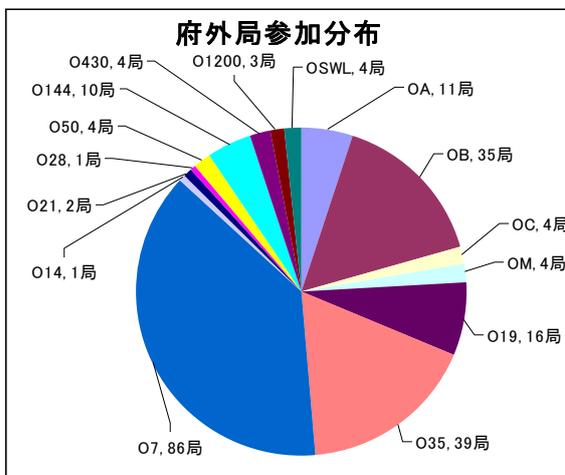
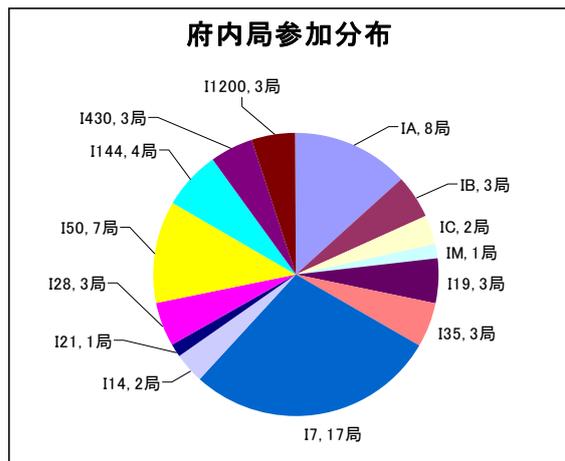
今回も、第49回(2005年)から第57回(2013年)までの各部門第1位の成績の推移を掲載しました。

また、総参加局数並びに参加局別交信数の推定、三年ぶりに参加者の使用リグ、アンテナの統計を行いました。

1. ログ提出局数の分布について

第57回京都コンテストでは有効な府内局のログ提出(チェックログ含む)は60局(昨年比-1局)でした。今年もここ数年同様、府内局SWL部門、2400MHz、5600MHzはエントリー局がありませんでした。今年は府内局についてはマルチオペマルチバンド/21MHzまた府外局は14/28MHzについて比較の入賞がしやすかったと思います。

参加部門	参加部門コード	参加局数
府内局マルチA部門	IA	8
府内局マルチB部門	IB	3
府内局マルチC部門	IC	2
府内局マルチマルチ部門	IM	1
府内局1.9MHz部門	I19	3
府内局3.5MHz部門	I35	3
府内局7MHz部門	I7	17
府内局14MHz部門	I14	2
府内局21MHz部門	I21	1
府内局28MHz部門	I28	3
府内局50MHz部門	I50	7
府内局144MHz部門	I144	4
府内局430MHz部門	I430	3
府内局1200MHz部門	I1200	3
府外局マルチA部門	OA	11
府外局マルチB部門	OB	35
府外局マルチC部門	OC	4
府外局マルチマルチ部門	OM	4
府外局1.9MHz部門	O19	16
府外局3.5MHz部門	O35	39
府外局7MHz部門	O7	86
府外局14MHz部門	O14	1
府外局21MHz部門	O21	2
府外局28MHz部門	O28	1
府外局50MHz部門	O50	4
府外局144MHz部門	O144	10
府外局430MHz部門	O430	4
府外局1200MHz部門	O1200	3
府外局SWL部門	OSWL	4

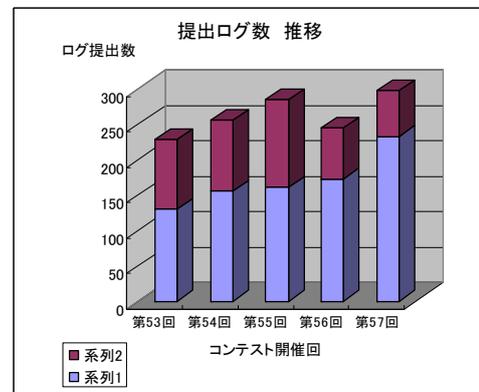
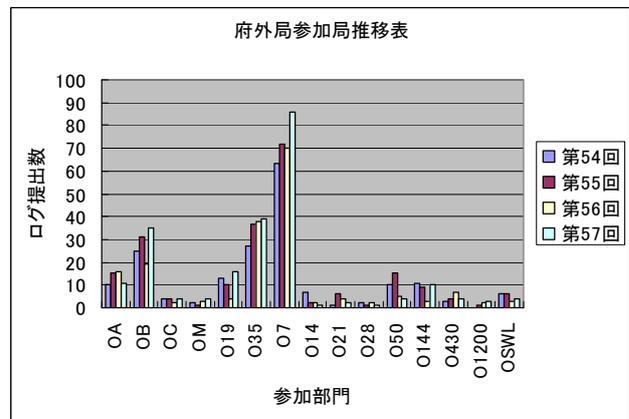
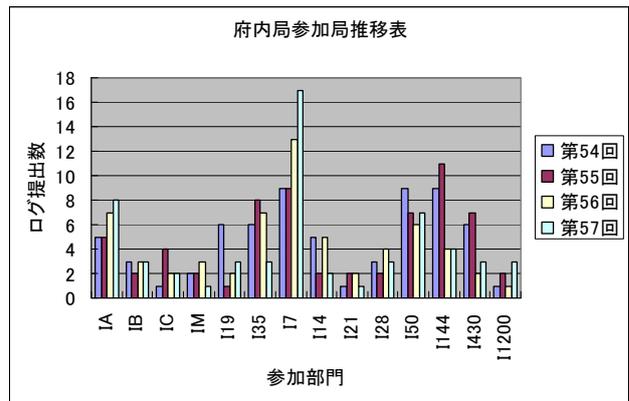


2. コンテストログ提出局推移

昨年はこちら数年の中でもっとも参加局が少なかった年でした。昨年度のログ提出数減少の反省から、事前のPRを目的に昨年度ご参加いただいた局の中でEメールアドレスをご記入頂いた方に、コンテスト開催の案内メールを送付させていただきました。その甲斐があったのか、国民文化祭2011京都の記念局が運用された第55回の285局を上回り、近年では最高の297局にログ提出を頂きました。

チェックログを含む府内局のログ提出数は昨年第56回と比べると増減なしの62局となりました。それから今年の特徴として、昨年と比較し、提出局が増加した部門は府内マルチA、7、50、430、1200MHzでした。府内マルチB、C、144MHzは例年通りの局数になっています。大きく参加局数を減らした部門は、府内3.5MHzです。最近では府内局で、このコンテストレビューを参考にログ提出部門を選択される方が増えています。地方コンテストは提出部門を考えれば十分入賞できるコンテストですので、本レビューを参考に作戦を練って入賞できるよう頑張ってください。

参加部門		部門コード	第54回	第55回	第56回	第57回
府内局	マルチA部門	IA	5	5	7	8
	マルチB部門	IB	3	2	3	3
	マルチC部門	IC	1	4	2	2
	マルチオベ部門	IM	2	2	3	1
	1.9MHz部門	I19	6	1	2	3
	3.5MHz部門	I35	6	8	7	3
	7MHz部門	I7	9	9	13	17
	14MHz部門	I14	5	2	5	2
	21MHz部門	I21	1	2	2	1
	28MHz部門	I28	3	2	4	3
	50MHz部門	I50	9	7	6	7
	144MHz部門	I144	9	11	4	4
	430MHz部門	I430	6	7	2	3
	1200MHz部門	I1200	1	2	1	3
	小計		66	64	61	60
参加部門		部門コード	第54回	第55回	第56回	第57回
府外局	マルチA部門	OA	10	15	16	11
	マルチB部門	OB	25	31	19	35
	マルチC部門	OC	4	4	2	4
	マルチオベ部門	OM	2	1	3	4
	1.9MHz部門	O19	13	10	4	16
	3.5MHz部門	O35	27	37	38	39
	7MHz部門	O7	63	72	70	86
	14MHz部門	O14	7	2	2	1
	21MHz部門	O21	1	6	4	2
	28MHz部門	O28	2	1	2	1
	50MHz部門	O50	10	15	5	4
	144MHz部門	O144	11	9	3	10
	430MHz部門	O430	3	4	7	4
	1200MHz部門	O1200	0	1	2	3
	SWL部門	OSWL	6	6	3	4
小計		184	214	180	224	
他	チェックログ他		5	7	3	13
合計		255	285	244	297	



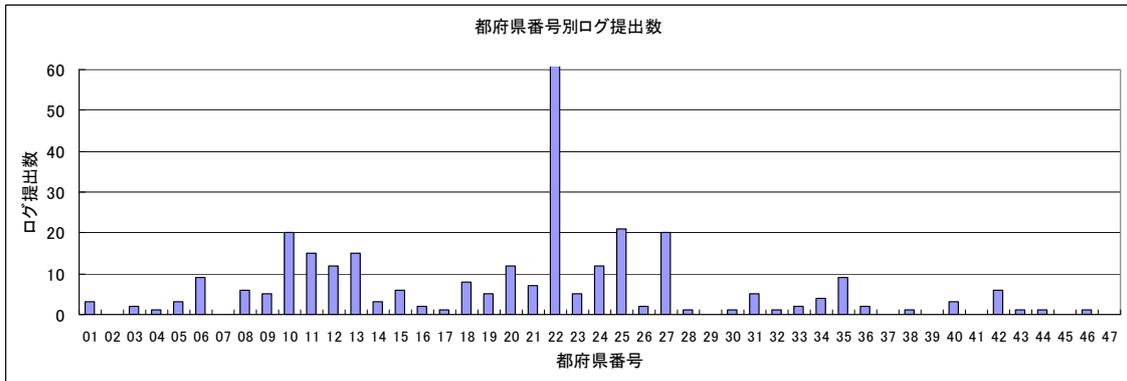
ログ提出方法の種別は以下の通りです。これを見ると年々、紙ログから電子ログへの移行が進んでいます。JARLにおいても平成26年(2014年)のコンテストから紙によるログ・サマリーの提出は手書きのみに限定されました。この紙ログの取り扱いについては次年度(第58回)の規約作成時に検討します。

	第53回	第54回	第55回	第56回	第57回
電子ログ提出数	130	155	161	173	233
紙ログ提出数	98	100	124	71	64

3. 都道府県別ログ提出数の詳細

都道府県別ログ提出局数の詳細は以下のとおりです。

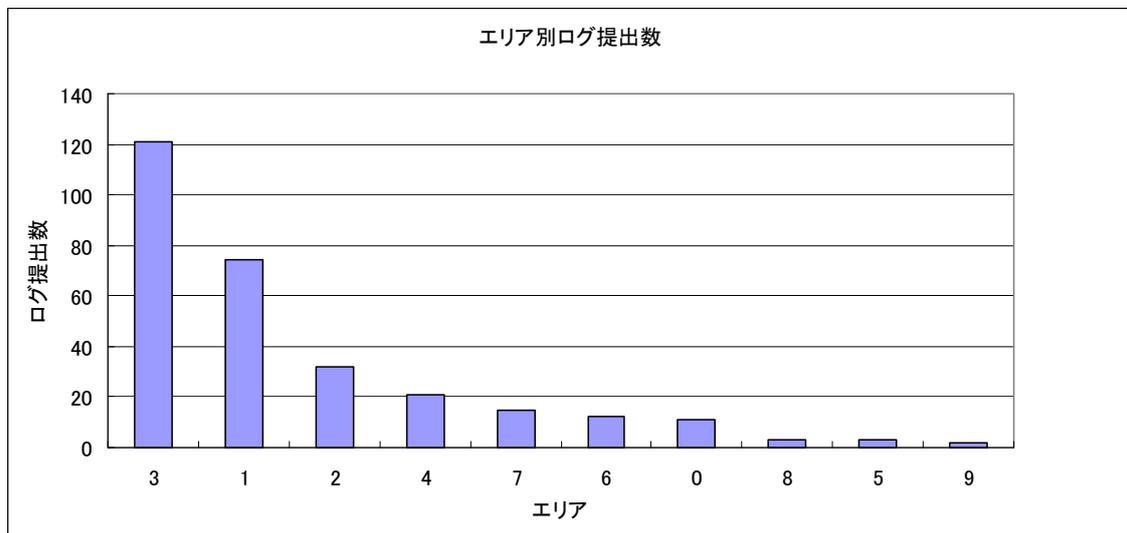
府内局を除くと V/UHF の局数も加算される関西近県がやはり多いようです。大阪、兵庫、奈良が多く、次の 1 エリアの東京、神奈川、埼玉、2エリアの愛知、静岡、三重、7 エリアは宮城県のログ提出が多いようです。各局有難うございます。



4. エリア別ログ提出数の詳細

エリア別ログ提出局数の詳細は以下のとおりです。

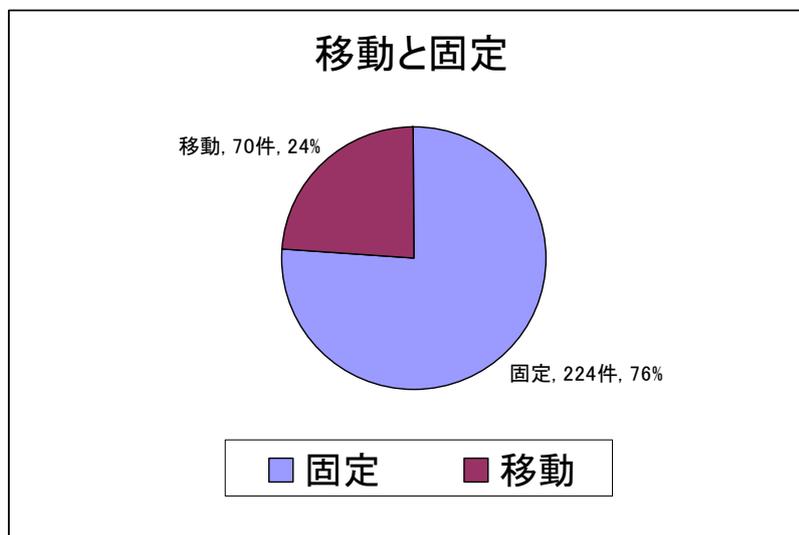
今回も1エリア、2エリアの次に4エリアが多くなっています。また昨年は提出局が少なかった7、6、0エリアの局も10局を越えています。ログ提出数が10を下回っている5、8、9エリアの方は是非ログの提出をお願いいたします。



5. 運用形態について

運用形態は以下のとおりです。

昨年と同様で移動しない局が76%、移動局が24%と全く同じ比率となっています。雪などの寒さを考えると冬場は固定局が大半を占めています。その分、V/UHF など高い山に移動すれば入賞できる可能性が高くなりますが、天候に留意し、遭難等事故のないように気をつけてください。



6. 入賞者のログ分析

<府内局>

(1) ログの合計得点詳細

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドA部門	JI3JWV	510	618	249	153882

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	70	81	37
3.5MHz	134	148	60
7MHz	200	221	63
14MHz	15	18	15
21MHz	24	36	21
28MHz	12	23	12
50MHz	28	46	19
144MHz	27	45	22

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドB部門	JK3HFN/3	348	384	140	53760

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	69	78	37
3.5MHz	116	119	45
7MHz	163	187	58

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドC部門	JJ3CSH	154	218	83	18094

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
50MHz	44	68	27
144MHz	62	85	28
430MHz	34	44	15
1200MHz	14	21	13

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
マルチオペマルチバンド部門	JA3YQD	474	561	234	131274

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	70	81	37
3.5MHz	127	140	48
7MHz	171	194	59
14MHz	21	25	19
21MHz	17	19	11
28MHz	19	24	14
50MHz	21	32	17
144MHz	20	34	20
430MHz	8	12	9

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペ1.9MHz部門	JK2XXK/3	55	63	31	1953
シングルオペ3.5MHz部門	JI6DUE/3	124	140	52	7280
シングルオペ7MHz部門	JF3DOK	163	186	68	12648
シングルオペ7MHz部門	JN3XEZ	161	183	62	11346
シングルオペ14MHz部門	JL3CRS	18	28	20	560
シングルオペ21MHz部門	JH3XCU/3	9	12	6	72
シングルオペ28MHz部門	JL3CRS	23	37	18	666
シングルオペ50MHz部門	JH3FYC/3	53	75	30	2250
シングルオペ144MHz部門	JO3UBN/3	59	82	33	2706
シングルオペ430MHz部門	JF4CAD/3	38	52	19	988
シングルオペ1200MHz部門	JH3XCU/3	14	22	13	286

今年の府内局の入賞者が QSO できていないマルチは、次のとおりです。

京都府内は、綾部市、久世郡、船井郡、京都市東山区、8 エリアは、留萌、日高、宗谷、オホーツク、空知、根室、後志、胆振、渡島、その他は沖縄、小笠原です。提出者の電子ログからは船井郡(JE3GRQ)、オホーツク(JJ8HGA)について、QSO の記録がありました。その他はQSOの記録はなく、過去8年間 留萌、日高との QSO の記録がありません。福知山市 (JK3HFN/3、JG3GOM)、舞鶴市(JO3AXC/3、JK2XXK/3)、宮津市(JL3YGO、JL3TQA)、京丹後市 (JK3LZI、JE3AVX、JI3OGI)、南丹市(JA3IVU/3)、与謝郡(JJ3CBX)について QRV が危ぶまれていましたが今年も運用がありました。同地域について最近は、QRV される方がほぼ定常化されてきたようです。ご協力ありがとうございます。また前年運用がなかった長岡京市については、今年は JI6DUE/3 により 3.5MHz、JS3UAB により 50MHz、JF3PGW により 3.5/7MHz の運用がありました。参加局の皆さん、貴重なサービス局ですので、来年 QRV があるかどうかは分かりませんが、聞こえてましたらマルチを落とさないように頑張って QSO お願いします。また昨年運用されました綾部市(JG3GOM/3)、久世郡(JI3MCM/3)について残念ながら今年も運用がありませんでした。来年参加される方は、上記マルチ獲得を目標に頑張ってください。

<府外局>

(3) ログの合計得点詳細

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドA部門	JE3VRJ	113	113	127	14351

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	8	8	9
3.5MHz	17	17	21
7MHz	29	29	31
14MHz	5	5	7
21MHz	3	3	3
28MHz	6	6	7
50MHz	15	15	15
144MHz	18	18	21
430MHz	8	8	7
1200MHz	4	4	6

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドA部門	JA3RSJ	113	113	126	14238

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	7	7	8
3.5MHz	14	14	18
7MHz	26	26	28
14MHz	4	4	5
21MHz	5	5	6
28MHz	6	6	7
50MHz	18	18	14
144MHz	18	18	20
430MHz	8	8	10
1200MHz	7	7	10

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドB部門	JA5CBU	51	51	57	2907

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	6	6	7
3.5MHz	16	16	19
7MHz	29	29	31

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドB部門	JA7AMK	50	50	56	2800

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	10	10	11
3.5MHz	15	15	19
7MHz	25	25	26

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドB部門	JH1CHU	50	50	56	2800

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	7	7	8
3.5MHz	14	14	18
7MHz	29	29	30

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペマルチバンドC部門	JA3AER	37	37	41	1517

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
50MHz	14	14	13
144MHz	15	15	18
430MHz	8	8	10

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
マルチオペマルチバンド部門	JA3YAA/3	82	82	84	6888

(内訳)

バンド	局	得点	マルチ
7MHz	22	22	23
14MHz	4	4	5
21MHz	4	4	4
28MHz	3	3	5
50MHz	18	18	14
144MHz	16	16	18
430MHz	11	11	10
1200MHz	4	4	5

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
シングルオペ1.9MHz部門	JA4GWE	9	9	11	99
シングルオペ1.9MHz部門	JR2FJX	8	8	9	72
シングルオペ3.5MHz部門	JH1HZV	10	10	15	150
シングルオペ3.5MHz部門	JH4FUF	17	17	21	357
シングルオペ3.5MHz部門	JR3AAZ	15	15	19	285
シングルオペ7MHz部門	JE6DND	29	29	31	899
シングルオペ7MHz部門	JJ2DWL	29	29	30	870
シングルオペ7MHz部門	JH1KPT	28	28	29	812
シングルオペ14MHz部門	JO3DDD	3	3	3	9
シングルオペ21MHz部門	JA3IUB	10	10	12	120
シングルオペ28MHz部門	JA3IUB	10	10	11	110
シングルオペ50MHz部門	JA3EVA	15	15	16	240
シングルオペ144MHz部門	JN3ANO	20	20	21	420
シングルオペ430MHz部門	JF2OHQ/3	13	13	15	195
シングルオペ1200MHz部門	JA3XJT/3	9	9	12	108

参加部門	コールサイン	局	得点	マルチ	合計
SWLマルチバンド部門	JL1LHT	32	32	39	1248

(内訳)

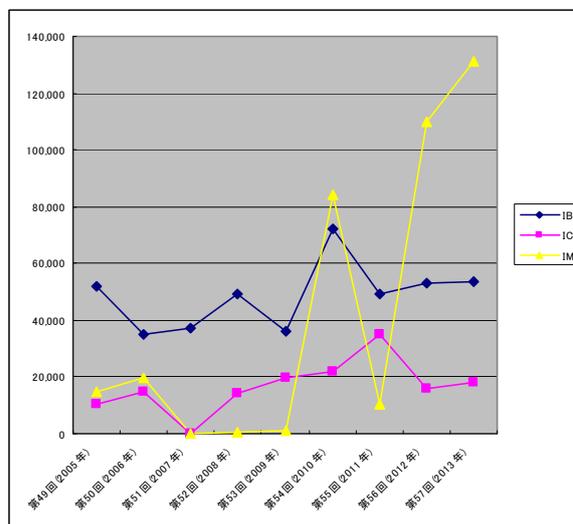
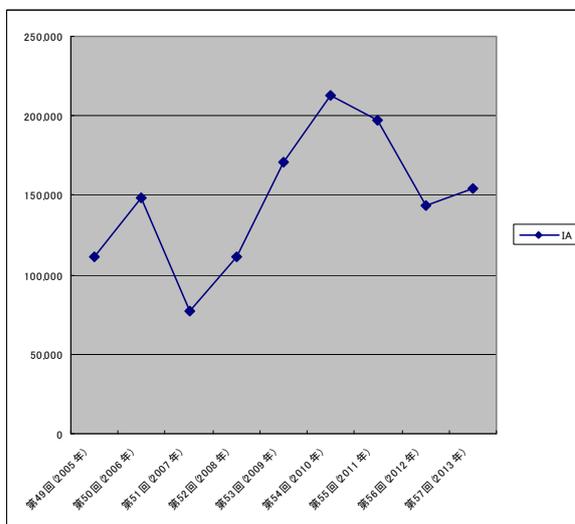
バンド	局	得点	マルチ
1.9MHz	5	5	6
3.5MHz	9	9	12
7MHz	18	18	21

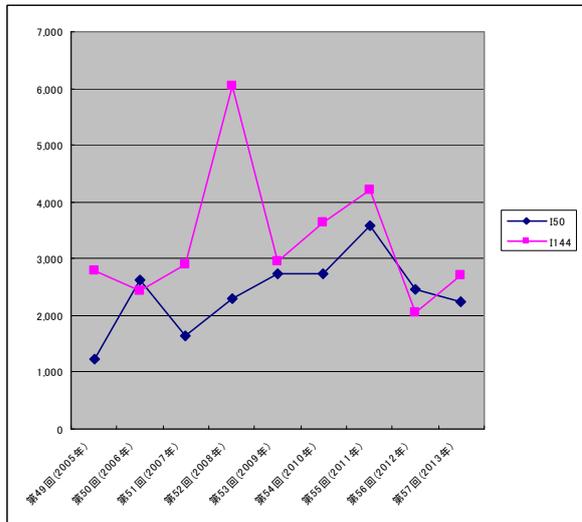
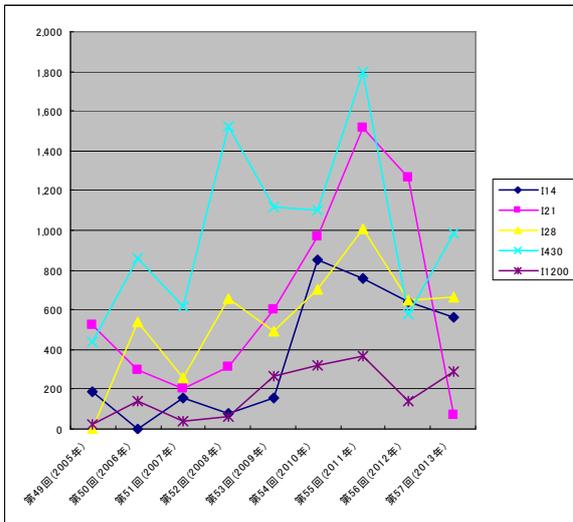
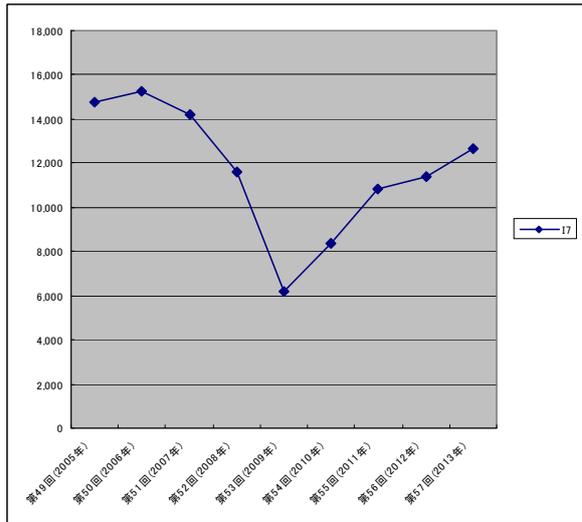
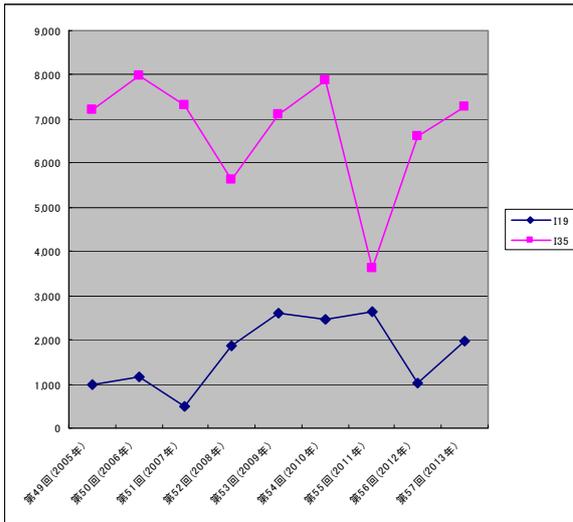
7. 過去の入賞者の得点推移

第49回(2005年)から第57回(2013年)までの各部門第1位の得点の推移を今回まとめてみました。第55回は、国民文化祭の記念局による特別ルールのため例年と比較できない得点となっていますが、入賞するための目安の得点としてください。

(1) 府内入賞局と入賞局の得点推移表及び推移グラフ

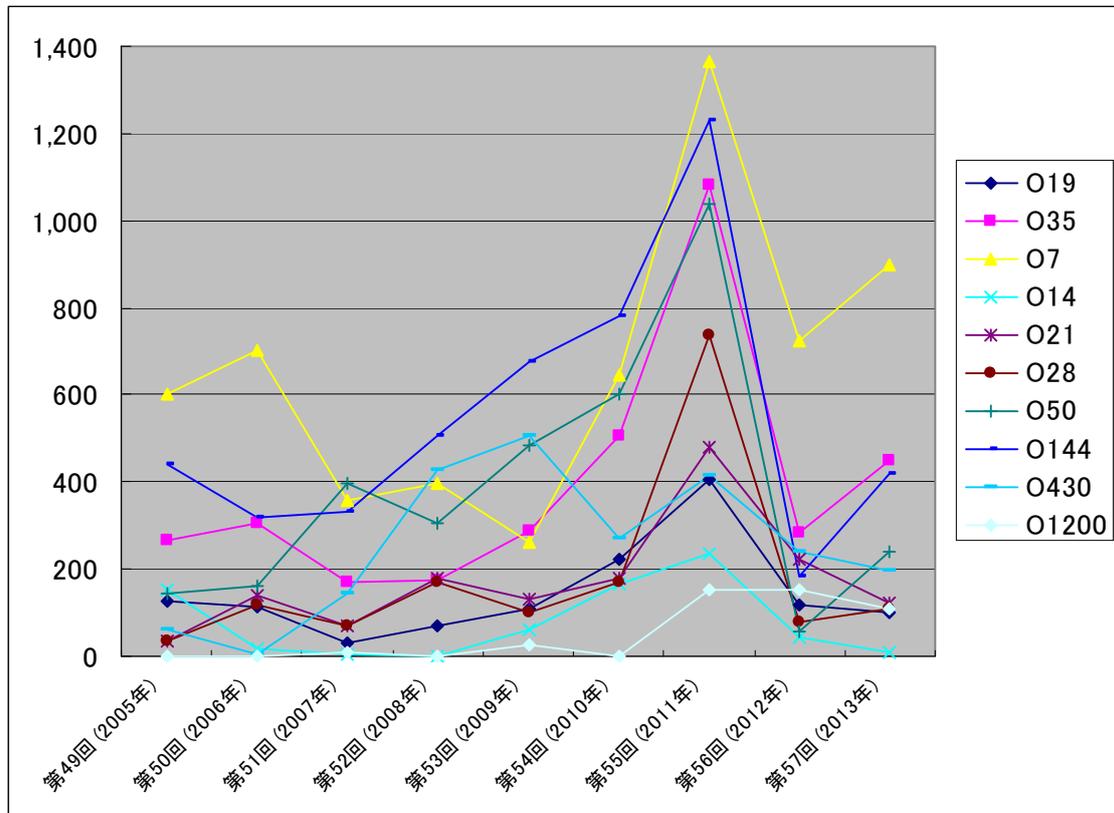
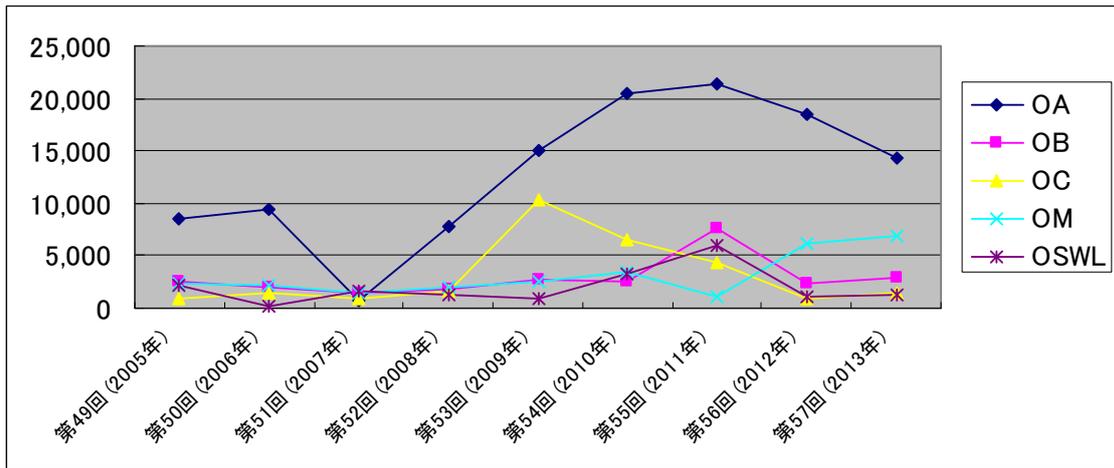
	第49回 (2005年)	第50回 (2006年)	第51回 (2007年)	第52回 (2008年)	第53回 (2009年)	第54回 (2010年)	第55回 (2011年)	第56回 (2012年)	第57回 (2013年)	平均得点
IA	111,192 (JH3GZO)	148,368 (JF3PLF)	76,986 (JI6DUE/3)	111,652 (JI3JWV)	170,632 (JR3E01/3)	212,506 (JR3E01/3)	197,120 (JI3JWV)	143,321 (JI3JWV)	153,882 (JI3JWV)	147,295
IB	51,867 (JK3HFN/3)	34,810 (JH3MKO)	37,236 (JK3HFN/3)	49,077 (JK3HFN/3)	36,084 (JK3HFN/3)	72,333 (JI3JWV)	49,067 (JH4PUL/3)	53,067 (JA3Q0S)	53,760 (JK3HFN/3)	48,589
IC	10,296 (JI6DUE/3)	14,823 (JS30S1)	—	14,472 (JA9XAT/3)	19,550 (JI3DUE/3)	22,113 (JI3GSH)	35,226 (JI3GSH)	15,826 (JJ2DWL/3)	18,094 (JI3GSH)	18,800
IM	14,940 (JI3ZJT/3)	19,879 (JI3ZJT/3)	—	560 (JA3YKE)	1,350 (JA3YKE)	83,952 (JL3YGS/3)	10,366 (JA3YKE)	110,019 (JA3YQD/3)	131,274 (JA3YQD/3)	46,543
I19	975 (JA3ART)	1,160 (JH4PUL/3)	486 (JH4PUL/3)	1,856 (JI6DUE/3)	2,584 (JI3JWV)	2,470 (JL3JRY/3)	2,628 (JH3BUM)	1,008 (JH3QNH)	1,953 (JK2XXK/3)	1,680
I35	7,200 (JF3DOK/3)	7,965 (JF3DOK/3)	7,296 (JF3DOK)	5,610 (JF3DOK)	7,089 (JL3JRY/3)	7,875 (JH3QNH)	3,608 (JK3LZ1)	6,625 (JF3DOK)	7,280 (JI6DUE/3)	6,728
I7	14,768 (JL3CRS/3)	15,249 (JL3CRS/3)	14,175 (JL3CRS)	11,590 (JF3DOK)	6,201 (JF3DOK)	8,344 (JA3ETD)	10,858 (JK3LZ1)	11,392 (JF3DOK)	12,648 (JF3DOK)	11,692
I14	187 (JE3XRX)	—	160 (JJ3GP-J)	77 (JH3QNH)	154 (JR3XEX)	850 (JF3LGC)	760 (JL3CRS)	640 (JL3CRS)	560 (JL3CRS)	424
I21	520 (JN3RAZ)	299 (JM3JPV/3)	200 (JN3RAZ/3)	315 (JN3RAZ/3)	600 (JA3ETD)	966 (JF3LGC)	1,512 (JL3CRS)	1,269 (JL3CRS)	72 (JH3XCU/3)	639
I28	—	540 (JM3JPV/3)	260 (JA3PJL)	656 (JL3CRS)	493 (JA3ETD)	700 (JN3XEZ)	1,008 (JN3XEZ)	651 (JN3XEZ)	666 (JL3CRS)	622
I50	1,218 (J03FLA)	2,625 (JH3FCG/3)	1,633 (JF4CAD/3)	2,294 (JI3LYG/3)	2,739 (JSUAB/3)	2,730 (JA3Q0S)	3,589 (JI3LYG/3)	2,448 (JH3FCG/3)	2,250 (JH3FCG/3)	2,392
I144	2,790 (JN3RAZ/3)	2,436 (JE3CS0/3)	2,910 (JL3BUX/3)	6,048 (J030WY/3)	2,958 (JN3RAZ)	3,640 (J030WY/3)	4,212 (J0300P/3)	2,044 (JN3RAZ/3)	2,706 (J03UBN/3)	3,305
I430	434 (JA9XAT/3)	858 (JA9XAT/3)	615 (JA9XAT/3)	1521 (J030WY)	1,120 (JF4CAD/3)	1,102 (JF4CAD/3)	1,800 (JG3DOR/3)	578 (JA3M1B)	988 (JF4CAD/3)	1,002
I1200	25 (JI3000)	140 (JI3000/3)	40 (JH3BUM)	60 (JH3BUM)	264 (JH3BUM)	322 (JH3XCU/3)	364 (JH3XCU/3)	140 (JH3XCU/3)	286 (JH3XCU/3)	182





(2) 府外入賞局と入賞局の得点推移表及び推移グラフ

	第49回 (2005年)	第50回 (2006年)	第51回 (2007年)	第52回 (2008年)	第53回 (2009年)	第54回 (2010年)	第55回 (2011年)	第56回 (2012年)	第57回 (2013年)	平均得点
OA	8,466 (JA3RK)	9,462 (JA3AA)	780 (JN3ANO)	7,802 (JA3RSJ)	15,120 (JA3RSJ)	20,436 (JA3RSJ)	21,423 (JE3VRJ)	18,450 (JR3SZZ/3)	14,351 (JE3VRJ)	12,921
OB	2,576 (JA1XEM)	1,920 (JA1SWB)	1,440 (JA3HZR)	1,880 (JA3HZR)	2,750 (JA3HZR)	2,585 (JA3HZR)	7,630 (JR2AWS)	2,430 (JR2AWS)	2,907 (JA5GBU)	2,902
OC	858 (JL3WXS/3)	1,419 (JL3WXS/3)	930 (JH3BYX)	1,720 (JH3BYX)	10,266 (JO3PSJ/3)	6,545 (JA9XAT/3)	4,374 (JL3WXS/3)	864 (JH3SKC)	1,517 (JA3AER)	3,166
OM	2,322 (JL3YJL/3)	2,091 (JL3YJL/3)	1,517 (JL3YJL/3)	1,932 (JL3YJL/3)	2,597 (JL3YJL/3)	3,472 (JL3YJL/3)	1,028 (JA2YGP/3)	6,090 (JL3YJL/3)	6,888 (JA3YAA/3)	3,104
O19	126 (JA4GWE)	112 (JA4GWE)	30 (JA4GWE)	70 (JA4GWE)	156 (JA4GWE)	221 (JA4GWE)	405 (JA4GWE)	117 (JA4GWE)	99 (JA4GWE)	143
O35	266 (JF6OVA)	304 (JF6OVA)	168 (JG1RRU)	176 (JR2VWY)	288 (JH4FUF)	504 (JR3AAZ)	1,080 (JH4FUF)	300 (JR3AAZ)	450 (JH1HZV)	391
O7	600 (JE2SJH)	702 (JN4UUS)	357 (JA6JCL)	399 (7N2JZT)	260 (JE6ND)	644 (JK2BAP)	1,364 (JF2WME)	725 (JF2WME)	899 (JE6ND)	661
O14	154 (JS6RGJ)	18 (JM3XHD)	4 (JO3DDD)	—	63 (JO3DDD)	165 (JO3DDD)	234 (JO3DDD)	42 (JM2RUV)	9 (JO3DDD)	86
O21	35 (JJ3TTH)	140 (JA3IUB)	70 (JA3IUB)	180 (JA3IUB)	130 (JR3AAZ)	180 (JR3AAZ)	480 (JE2HXL/2)	224 (JR3AAZ)	120 (JA3IUB)	173
O28	35 (JJ3TTH)	117 (JR3AAZ)	70 (JR3AAZ)	168 (JJ3TTH)	99 (JJ3TTH)	168 (JA3IUB)	735 (JA3IUB)	80 (JA3IUB)	110 (JA3IUB)	176
O50	143 (JA3RAZ)	160 (JA3EVA)	396 (JO3HRE)	304 (JA3WDL)	483 (JO3DDD)	600 (JM1TDG/3)	1,040 (JG3LDD/3)	56 (JA3EVA)	240 (JA3EVA)	380
O144	440 (JF3XTY)	320 (JK3DDU/3)	330 (JO3KMD)	506 (JO3AYN)	676 (JO3AYN)	780 (JO3AYN)	1,232 (JG3LDD/3)	182 (JN3ANO)	420 (JN3ANO)	543
O430	63 (JF3XTY)	4 (JS3PJR)	143 (JA3QOS/3)	429 (JO3LTH)	507 (JO3RGZ/3)	272 (JG3DOR/3)	416 (JF3LCH/3)	238 (JF2OHQ/3)	195 (JF2OHQ/3)	252
O1200	—	—	9 (JH3LXM)	1 (JH4PUL/3)	25 (JL3RTA)	—	154 (JA3XJT/3)	49 (JR3CNQ)	108 (JA3XJT/3)	75



8. コンテストに使用された設備、出力およびログ提出者資格についての資料

提出いただいたサマリーシートから皆さんがコンテストで使用されたリグやアンテナ、出力を分析しました。今後の京都コンテストにご参加いただく際のご参考にお役立て下さい。なお、表やグラフで不明となっている部分は、記載のない場合の他に複数のバンドに参加された場合で、リグやアンテナとバンドとの対応が明確でないケースを含んでいます。

<コンテストに使用されたリグ(バンド別)>

1.9MHz	数	3.5MHz(1)	数	3.5MHz(2)	数	7MHz(1)	数
FT-1000MP Mark5	4	FT-1000MP	4	IC-706+リニア	1	FT-1000MP	5
TS-590S	3	FT-1000MP Mark5	4	IC-706MK2	1	FT-1000MP Mark5	5
FT-450	2	FT-2000D	4	IC-726	1	IC-7000M	5
FT-817ND	2	FT-897	3	IC-731S	1	FT-2000D	4
IC-706MK2G	2	IC-706	3	IC-7410M	1	FT-897DM	4
IC-756Pro	2	TS-690S	3	IC-750	1	IC-706	4
TS-690S	2	FT-1011	2	IC-756	1	IC-7400	4
TS-870	2	FT-817ND	2	IC-756Pro2改	1	IC-7400	4
FT-1000MP	1	FT-897DM	2	IC-7700+リニア	1	FT-450	3
FT-1011	1	IC-7000	2	IC-7750	1	FT-450M	3
FT-2000D	1	IC-7000M	2	IC-780	1	FT-817ND	3
FT-757GX	1	IC-706MK2G	2	JST-135	1	FT-857	3
FT-767SX	1	IC-7400	2	JST-245	1	IC-706MK2G	3
FT-857DM	1	IC-7410	2	JST-245H	1	IC-7410	3
FT-897	1	IC-746M	2	NRD-515	1	IC-756Pro2	3
FTDX-3000D+リニア	1	IC-756Pro2	2	NSD-515	1	IC-7800	3
IC-7000	1	IC-7600	2	TS-2000	1	TS-570	3
IC-706	1	IC-760Pro	2	TS-2000S	1	TS-690S	3
IC-706+リニア	1	TS-570	2	TS-2000SX	1	FT-100	2
IC-726	1	TS-590S	2	TS-520X	1	FT-450D	2
IC-756Pro2	1	FT-107S	1	TS-570S	1	FT-747GX	2
IC-7600	1	FT-450M	1	TS-680S	1	FT-920	2
IC-760Pro	1	FT-757GX	1	TS-680V	1	IC-7000	2
IC-7700+リニア	1	FT-767SX	1	TS-850	1	IC-706MK2GM	2
JST-135	1	FT-950	1	TS-850+リニア	1	IC-736	2
TS-2000S	1	FTDX-3000D+リニア	1	TS-850S	1	IC-746M	2
TS-2000SX	1	FTDX9000Contest	1	TS-870	1	IC-760Pro	2
TS-570	1	FTDX9000D	1	TS-870S	1	IC-9100	2
TS-830S	1	IC-703	1	TS-930S	1	TS-480DAT	2
TS-850	1			TS-950DX	1		
TS-850S+リニア	1			不明	13		
TS-870S	1						
TS-930DX	1						
TS-930S	1						
不明	5						

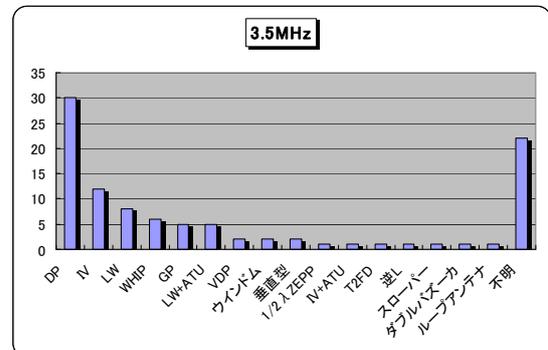
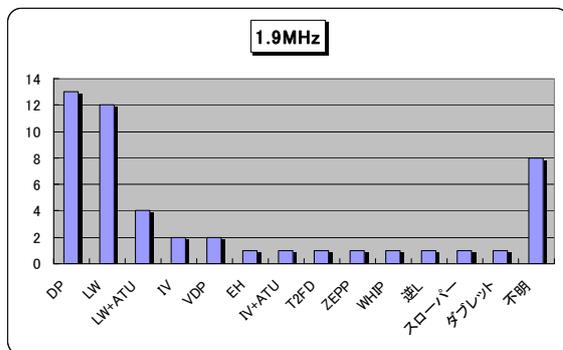
7MHz(2)	数	7MHz(3)	数	14MHz	数	21MHz	数
TS-590S	2	IC-756Pro	1	FT-1000MP Mark5	2	FT-817ND	2
TS-850	2	IC-756Pro2改	1	DX-70	1	IC-7400	2
TS-850S	2	IC-7600	1	FT-107S	1	DX-70	1
FT-1000M5F	1	IC-7600M	1	FT-2000D	1	FT-1000MP Mark5	1
FT-100D	1	IC-7700	1	FT-817ND	1	FT-1011	1
FT-100M	1	IC-7700+リニア	1	FT-897	1	FT-817	1
FT-1011	1	IC-7750X2	1	FTDX9000Contest	1	IC-7000	1
FT-107S	1	IC-775DX2	1	IC-7000	1	IC-7000M	1
FT-450DM	1	IC-7800+リニア	1	IC-7000M	1	IC-706+リニア	1
FT-747GX2	1	JST-245	1	IC-706+リニア	1	IC-706MK2	1
FT-847M	1	JST245H	1	IC-7200	1	IC-7200M	1
FT-857D	1	K-2	1	IC-7200M	1	IC-756Pro2	1
FT-857DM	1	K3	1	IC-7400	1	IC-760Pro	1
FT-897	1	MARK-5(50W改)	1	IC-756P3+リニア	1	IC-7700+リニア	1
FT-897M	1	TS-2000S	1	IC-756Pro2	1	TS-2000S	1
FT-950	1	TS-2000SX	1	IC-7700+リニア	1	TS-570	1
FTDX-3000	1	TS-520X	1	TS-2000S	1	TS-850	1
FTDX-3000D+リニア	1	TS-570S	1	TS-690S	1	TS-850S+リニア	1
FTDX9000Contest	1	TS-570S	1	TS-850	1	不明	5
FTDX9000D	1	TS-680S	1	TS-850S+リニア	1		
FTDX9000MP	1	TS-680V	1	不明	5		
IC-456Pro	1	TS-690	1				
IC-706+リニア	1	TS-690D	1				
IC-706MK	1	TS-690V	1				
IC-706MK2	1	TS-850S+リニア	1				
IC-7200	1	TS-870	1				
IC-7200M	1	TS-870S	1				
IC-732	1	TS-930S	1				
IC-746	1	TS-940	1				
IC-756	1	不明	23				

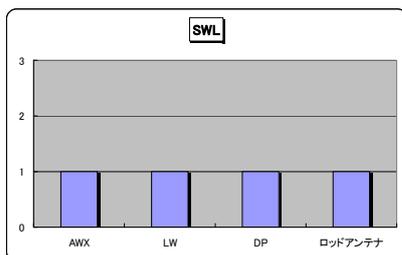
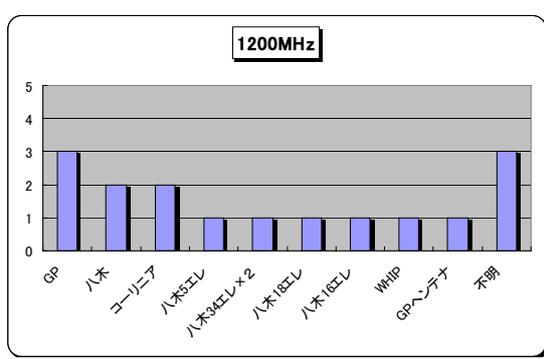
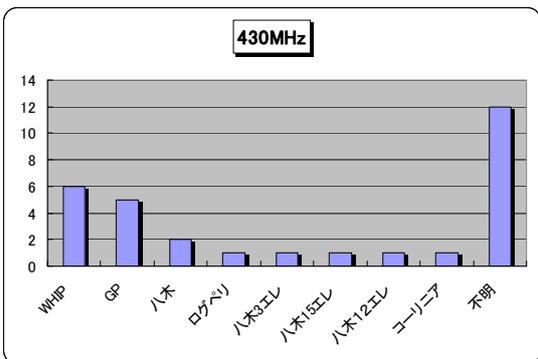
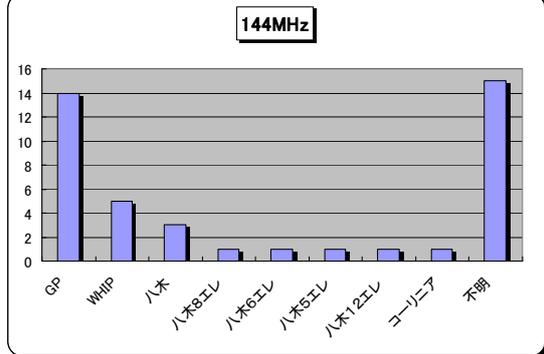
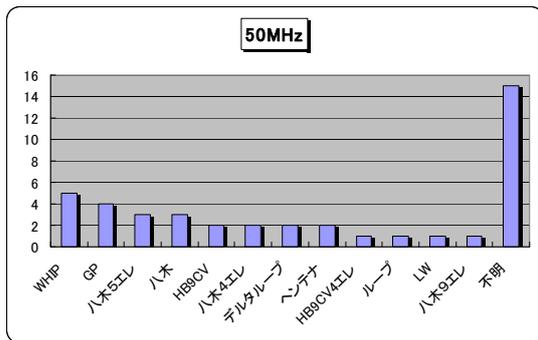
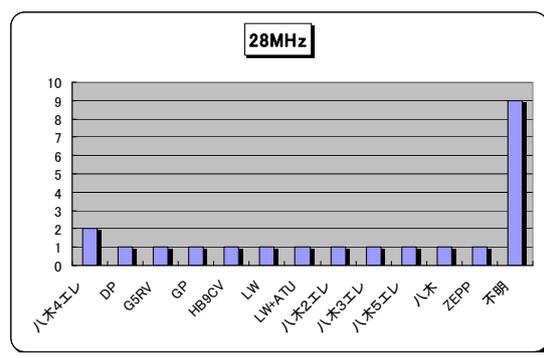
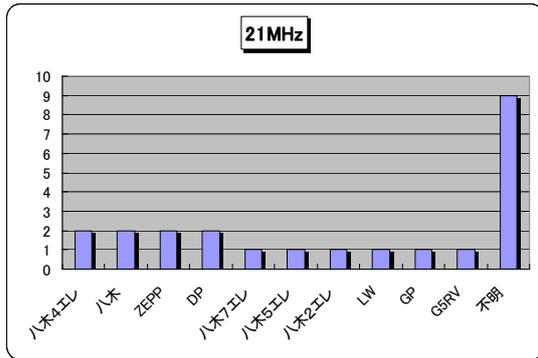
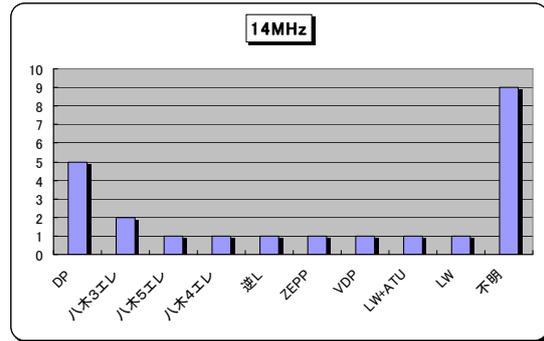
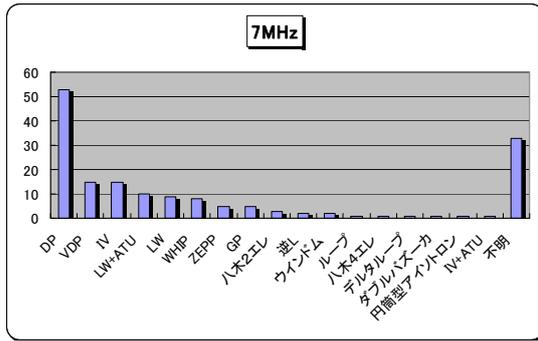
28MHz	数	50MHz	数	144MHz	数	430MHz	数
FT-1000MP Mark5	1	IC-7000M	4	IC-7000M	5	IC-7000M	4
FT-817ND	1	FT-450	2	FT-817ND	3	FT-817ND	3
FT-847M	1	FT-817	2	IC-7400	2	FT-817	2
TS-570S	1	FT-817ND	2	IC-910D	2	FT-817+AMP	1
FTDX9000Contest	1	FT-847M	2	TS-2000SX	2	FT-847M	1
IC-7000M	1	IC-7000	2	TS-790S	2	FT-857	1
IC-7200M	1	TS-570	2	FT-221	1	FT-897	1
IC-756Pro2	1	FT-100DM	1	FT-290	1	FT-897M	1
IC-7700+リニア	1	FT-450M	1	FT-817	1	IC-7000	1
IC-7800+リニア	1	FT-857	1	FT-847M	1	IC-706	1
TS-2000S	1	FT-857DM	1	FT-857	1	IC-820	1
TS-570	1	FT-897	1	FT-897M	1	IC-910	1
TS-850	1	FT-897M	1	IC-275D	1	IC-910D	1
IC-706+リニア	1	IC-706	1	IC-7000	1	IC-911	1
TS-850S+リニア	1	IC-706MK2GM	1	IC-7000S	1	ID-31	1
不明	7	IC-7200M	1	IC-706	1	TS-2000SX	1
		IC-756	1	IC-706MK2	1	不明	9
		IC-756P3+リニア	1	IC-820	1		
		IC-756PRO	1	IC-910	1		
		IC-9100M	1	IC-910D	1		
		IC-911	1	TS-2000S	1		
		IC-970	1	TS-2000SX	1		
		TS-2000S	1	TS-520M	1		
		TS-690	1	TS-690S	1		
		TS-780	1	不明	10		
		不明	10				

1200MHz	数	SWL	数
IC-910D	2	FT-817ND	1
DG-G7	1	IC-746S	1
DJ-G7	1	ICF-2001D	1
FT-5800	1	自作	1
IC-910	1		
IC-T81	1		
TH-59	1		
TR-50	1		
TS-2000SX	1		
不明	5		

<コンテストに使用されたアンテナ(バンド別)>

1.9MHz	数	3.5MHz	数	7MHz	数	14MHz	数	21MHz	数	28MHz	数
DP	13	DP	30	DP	53	DP	5	八木4エレ	2	八木4エレ	2
LW	12	IV	12	VDP	15	八木3エレ	2	八木	2	DP	1
LW+ATU	4	LW	8	IV	15	八木5エレ	1	ZEPP	2	G5RV	1
IV	2	WHIP	6	LW+ATU	10	八木4エレ	1	DP	2	GP	1
VDP	2	GP	5	LW	9	逆L	1	八木7エレ	1	HB9CV	1
EH	1	LW+ATU	5	WHIP	8	ZEPP	1	八木5エレ	1	LW	1
IV+ATU	1	VDP	2	ZEPP	5	VDP	1	八木2エレ	1	LW+ATU	1
T2FD	1	ウインドム	2	GP	5	LW+ATU	1	LW	1	八木2エレ	1
ZEPP	1	垂直型	2	八木2エレ	3	LW	1	GP	1	八木3エレ	1
WHIP	1	1/2λ ZEPP	1	逆L	2	不明	9	G5RV	1	八木5エレ	1
逆L	1	IV+ATU	1	ウインドム	2			不明	9	八木	1
スローパー	1	T2FD	1	ループ	1					ZEPP	1
ダブルレット	1	逆L	1	八木4エレ	1					不明	9
不明	8	スローパー	1	デルタループ	1						
		ダブルバズーカ	1	ダブルバズーカ	1						
		ループアンテナ	1	円筒型アイトロン	1						
		不明	22	IV+ATU	1						
				不明	33						
50MHz	数	144MHz	数	430MHz	数	1200MHz	数	SWL	数		
WHIP	5	GP	14	WHIP	6	GP	3	AWX	1		
GP	4	WHIP	5	GP	5	八木	2	LW	1		
八木5エレ	3	八木	3	八木	2	コーリニア	2	DP	1		
八木	3	八木8エレ	1	ログペリ	1	八木5エレ	1	ロッドアンテナ	1		
HB9CV	2	八木6エレ	1	八木3エレ	1	八木34エレ×2	1				
八木4エレ	2	八木5エレ	1	八木15エレ	1	八木18エレ	1				
デルタループ	2	八木12エレ	1	八木12エレ	1	八木16エレ	1				
ヘンテナ	2	コーリニア	1	コーリニア	1	WHIP	1				
HB9CV4エレ	1	不明	15	不明	12	GPヘンテナ	1				
ループ	1					不明	3				
LW	1										
八木9エレ	1										
不明	15										





＜参加局のバンド別出力とログ提出者資格＞

1.9MHz 局数		3.5MHz 局数		7MHz 局数		14MHz 局数		21MHz 局数		28MHz 局数	
5W	2	5W	3	2.5W	1	5W	1	5W	3	5W	1
30	1	10	5	5	4	10	1	50	6	50	5
50	18	20	1	10	4	30	1	80	1	100	4
100	14	30	1	15	1	50	4	100	4	200	2
200	4	50	39	20	2	100	5	200	1	500	1
400	1	80	1	25	1	200	4	500	1	1000	3
500	1	100	25	30	2	500	1	1000	2	記載なし	6
1000	3	150	1	50	68	1000	3	記載なし	4		
記載なし	3	200	9	80	1	記載なし	4				
		400	1	100	46						
		500	1	150	1						
		1000	3	200	15						
		記載なし	9	400	1						
				500	1						
				1000	7						
				記載なし	9						

50MHz 局数		144MHz 局数		430MHz 局数		1200MHz 局数	
2.5W	1	2.5W	1	2.5W	1	1W	7
5	3	3	1	5	5	10	3
10	3	5	3	10	2	記載なし	5
30	1	10	3	20	4		
35	1	20	3	35	4		
50	19	35	3	50	6		
100	4	50	18	100	1		
1000	1	100	1	記載なし	7		
記載なし	10	記載なし	9				

資格	局数
第1級総合無線通信士	3
第1級陸上無線技術士	1
第1級アマチュア無線技士	128
第3級総合無線通信士	1
第2級アマチュア無線技士	64
第3級アマチュア無線技士	45
第4級アマチュア無線技士	4
米国エクストラ級	2
米国ゼネラル級	1
記載なし(SWL)	3

9. 2013 年京都コンテストにおける総参加局数並びに参加局別交信数の推定

(この記事は、編者の一人 JO3UBN が「JARL 京都クラブ」の会報誌に投稿した記事の部分改変転載です)

(1) 推定方法と結果

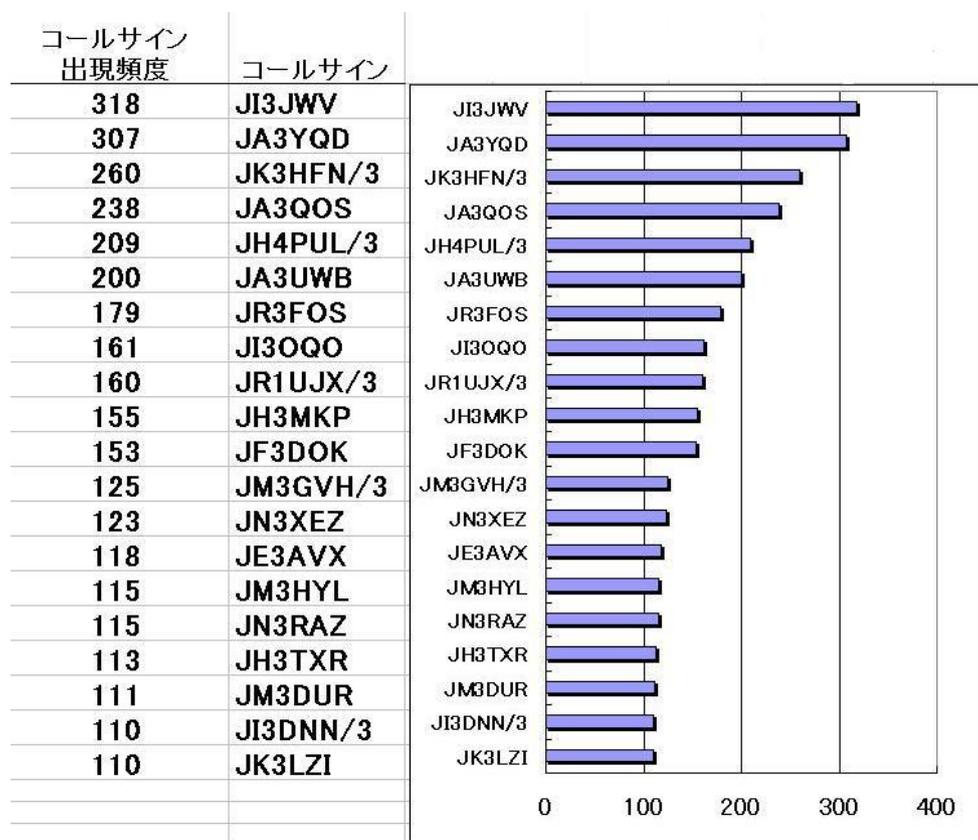
コンテストログにおいて出現するコールサインは、ログを提出しなかった局のコールサインも含まれているので、異なるコールサインの数を数えることによって、ログを提出しなかった局を含めたコンテスト参加局(総参加局数)を推定することが出来ます。このように考えて、2012 年のコンテストから分析を始めました。2013 年についても、電子ログと紙ログから得られた 10,223 交信のログデータを分析しました。

その結果、交信回数が2回以上の局を参加局とすると(1回とすると、コールサインのミスコピーによる影響が大きく不正確になる)、総参加局数は 512 局となりました。ログ提出局は 252 局なので、ログを提出いただけなかった局が 260 局あったと推定されます。

ログ提出局に対する総参加局の比率は 2.0 となりました。前は 2.4 でした。このことは、ログデータを使って異なるコールサインの数を数えることが出来ない場合でも、ログ提出局数を約 2 倍することによって、およその総参加局数を推定できることを示しています。

(2) 参加局別のコールサイン出現頻度

ログにおけるコールサインの出現頻度は、そのコールサインを持つ局の交信数を表します。出現頻度の高い 20 局を表とグラフで示しました。



表図9-1: 提出されたログにおけるコールサインの出現頻度とそれに対応するコールサイン

このコールサインの出現頻度は、エントリーした種目以外の交信を含んでいるので、参加部門・種目別の結果だけからは明らかではない各局の交信数を示していて興味深いものとなっています。

10. ログ記入上の注意

折角ログを提出していただいても、失格になっては大変残念です。これまでで、一番多かった失格理由は、送信コンテストナンバーが正しく記載されていないことによるものでした。以下、失格の事例です。ログ提出の際は、今一度、誤りがないかご確認ください。

1. 都道府県の送信マルチが記載されていない。 599_HN
2. 都道府県の送信マルチが都道府県ナンバーになっている。 59925HN
3. 紙ログで RST が先頭の局のみ記載。最後の局まで記載されていない。

また、京都コンテストは、他のコンテストと異なり、1つの局が複数の部門にエントリーすることが可能です。通常 JARL では最新版の提出ログをエントリー部門としていますが、訂正やエントリー部門の変更で3部門以上のログを送信した場合は、最新の提出ログのコメント欄に必ず、自分のエントリーする部門を記載してください。どの部門にエントリーするか記載がない場合は、失格になる場合があります。

また、サマリーシートとログシートの整合性が取れていないログ提出が見られました。サマリーシートは、ログシートがサマリ(集計)されたシートと考えますので、サマリーシート、ログシートの内容が異なる場合、京都コンテストでは審査することができません。

サマリーシートに記載されていないバンドの交信は、ログシートに記載しない、もしくは記載した場合は、コメント欄にはエントリー以外のログはチェックログであることを明示し、必ず得点は「0」、マルチ欄は空白で提出を行ってください。

(正しい記入例 1)

```
<CATEGORYCODE>035</CATEGORYCODE>
<CATEGORYNAME>府外局シングルオペ 3.5MHz</CATEGORYNAME>
<CALLSIGN>JH1●▲■</CALLSIGN>
<SCORE BAND=3.5MHz>14, 28, 14</SCORE>
<SCORE BAND=TOTAL>14, 28, 14</SCORE>
<TOTALSCORE>392</TOTALSCORE>
:
<LOGSHEET TYPE=HLTST7.6.0>
MM/DD HH:MM CallSign Rst Sent Rst Rcv Multi P MHz Mode
-----
02/02 20:33 JA4ABC/3 599 TKHT 599C11HK C11 1 3.5 CW
02/02 20:40 JA3ABC 599 TKHT 599C09AH C09 1 3.5 CW
02/02 20:44 JI3ABC/3 599 TKHT 599C09V27 C09V27 1 3.5 CW
:
02/02 20:51 JA3YQD 599 TKHT 599G08V85 G08V85 1 3.5 CW
</LOGSHEET>
```

(正しい記入例 2)

```
<CATEGORYCODE>035</CATEGORYCODE>
<CATEGORYNAME>府外局シングルオペ 3.5MHz</CATEGORYNAME>
<CALLSIGN>JH1●▲■</CALLSIGN>
<SCORE BAND=3.5MHz>14, 28, 14</SCORE>
<SCORE BAND=TOTAL>14, 28, 14</SCORE>
<TOTALSCORE>392</TOTALSCORE>
:
<COMMENTS>7MHz はチェックログとして記載します。</COMMENTS>
```

```
<LOGSHEET TYPE=HLTST7.6.0>
```

MM/DD HH:MM	CallSign	Rst	Sent	Rst Rcv	Multi	P	MHz	Mode
02/02 20:33	JA4ABC/3	599	TKHT	599C11HK	C11	1	3.5	CW
02/02 20:40	JA3ABC	599	TKHT	599C09AH	C09	1	3.5	CW
02/02 20:44	J13ABC/3	599	TKHT	599C09V27	C09V27	1	3.5	CW
	:							
02/02 20:51	JA3YAB	599	TKHT	599G08V85	G08V85	1	3.5	CW
02/03 13:30	JA3YAB	599	TKHT	599G08V85		0	7	CW
02/03 13:34	JA3ABC	599	TKHT	599C09AH		0	7	CW
02/03 13:40	JA4ABC/3	599	TKHT	599C11HK		0	7	CW
	:							
02/03 15:00	JA3ABB/3	599	TKHT	599G08TT		0	7	CW

(誤った記入例 1)

```
<CATEGORYCODE>035</CATEGORYCODE>
<CATEGORYNAME>府外局シングルオペ 3.5MHz</CATEGORYNAME>
<CALLSIGN>JH1●▲■</CALLSIGN>
<SCORE BAND=3.5MHz>14, 28, 14</SCORE>
<SCORE BAND=TOTAL>14, 28, 14</SCORE>
<TOTALSCORE>392</TOTALSCORE>
:
```

```
<COMMENTS></COMMENTS>
<LOGSHEET TYPE=HLTST7.6.0>
```

MM/DD HH:MM	CallSign	Rst	Sent	Rst Rcv	Multi	P	MHz	Mode
02/02 20:33	JA4ABC/3	599	TKHT	599C11HK	C11	1	3.5	CW
02/02 20:40	JA3ABC	599	TKHT	599C09AH	C09	1	3.5	CW
02/02 20:44	J13ABC/3	599	TKHT	599C09V27	C09V27	1	3.5	CW
	:							
02/02 20:51	JA3YAB	599	TKHT	599G08V85	G08V85	1	3.5	CW
02/03 13:30	JA3YAB	599	TKHT	599G08V85	G08V85	1	7	CW
02/03 13:34	JA3ABC	599	TKHT	599C09AH	C09	1	7	CW
02/03 13:40	JA4ABC/3	599	TKHT	599C11HK	C11	1	7	CW
	:							
02/03 15:00	JA3ABB/3	599	TKHT	599G08TT	G08	1	7	CW

コンテスト参戦記

— コンテスト参戦記編集にあたり —

今年も京都コンテスト入賞者から「入賞の秘訣とコンテストを楽しめるノウハウ」を伺い、来年以降の京都コンテスト参加者に「入賞できる運用方法」としてご参考にしていただければと思い上位入賞者に寄稿のご協力をお願いしました。寄稿いただいた局長様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

----- 以下回答です。 -----

■府内局シングルオペ 14/28MHz 部門 1位
JL3CRS 高野 洋一 様

・コールサイン

JL3CRS

・使用機材

リグ：八重洲無線 FT-1000MP MARK-V

アンテナ：ミニマルチアンテナ T33jrH-WARC-E2DX

パソコン：Acer AS5349-F84C/F

・なぜこの部門を選んだか

コンテスト当日に予定があり、短時間でもフル参加できるシングルバンドに参加しました。

・獲得目標

入賞よりも、京都府内局として京都のマルチを参加された皆さんに提供したいという気持ちでした。

・改善、強化点

特にありませんが、去年はデスク PC でしたが、今年はノート PC でログ入力を行いました。

・準備

自宅から参加しましたので、特にありませんが、温かいお茶をポットに沸かして、リグの前に置いていつでも飲めるようにしておきました Hi。おかげさまでリラックスして参戦出来ました Hi

・コンテスト当日の行動

CTESTWIN のバージョン確認とコンテスト規約の再確認を念入りに行いました。

・スタートから終了まで

2 日目の朝 8 時の 14MHZ 部門から参加し、その後 21MHZ、28MHZ 部門と続けて参加しました。午後からは予定があってフル参戦は出来ませんでした。7MHZ 部門でも 1 時間半程参加しました。

・反省点

HF のハイバンドでは時期的に他エリアとの QS0 は難しい状況のなか、他エリアからコールしてくてくれる局が多数おられました。いずれもそう強くない事で苦勞しました。取りきれない局がおられたはず。スキャッター等の伝播の可能性もあるので、伝播状況を掴んで捉えていきたいと考えております。

・次回参加の際のアドバイス

京都コンテストは NR が長いことで有名ですよね Hi。これは災害救援等での通信訓練も兼ねていることを、私自身もより認識しなければと考えております。皆さんも、京都コンテストでの QS0 を楽しみながら、同時に訓練も兼ねているという緊張感をも持って、参加してもらえればと考えます。皆さんありがとうございます。

■府外局シングルオペマルチバンド A 部門 1 位

JE3VRJ 半田 守 様

・コールサイン

JE3VRJ

・使用機材

リグ： FT-1021X、TS-2000SX

アンテナ： G5RV、V 型 DP、GP

パソコン： Pentium Dual-Core E6500 (2.93GHz)



- ・なぜこの部門を選んだか
できる限り多数の局と QSO するため。
- ・獲得目標
昨年より交信局数 UP。
- ・改善, 強化点
昨年を振り返ると、ワッチが雑になったのが敗因の一つだと思います。
某コンテスト用に作成した、呼び側に特化したチェックシート (Excel) で、取りこぼしの少ないワッチができるようしました。チェックシート (Excel) には QSO しながら、周波数とコールサインを記録しました。
- ・準備
特別なことは行っていませんが、Zlog のスーパチェックだけは準備しました。
- ・コンテスト当日の行動
あまり QRV しないバンドもあるため電波が出るか、チェックしました。
- ・スタートから終了まで
毎度のことながら電話からスタート、電話で伸びなくなると電信をワッチする方法で QSO。翌日もなんとか早起きし、今年は全バンドエントリーできました。7MHz の最後の1時間はまったく伸びませんでした。
- ・反省点
430MHz の終了時間を間違えてしまい、最後のワッチすることができなかった。
若干の取りこぼしが発生した可能性が高いと思っています。電信が苦手です、もう少しスキルがあればと思います。160m と HF ハイバンドは飛びませんでした。(ANT が悪いのですが)

・次回参加の際のアドバイス

どのコンテストでもいえると思いますが、使い慣れたセットで楽しむのが好結果になると思います。

■府外局シングルオペマルチバンドB部門 1位

JA5CBU 立花 真一様

・コールサイン

JA5CBU

・使用機材

リグ： TS-590S

アンテナ： 40mロングワイヤー (1.9MHZ)

3.5MHZ ワイヤー ダイポール

7MHZ ワイヤー ダイポール

14, 21, 28 MHZ 3 BAND ワイヤー ダイポール

パソコン： ノートパソコン (WIN XP)

LOG SOFT CTESTWIN

・なぜこの部門を選んだか

昨年、3.5MHZと7MHZの両部門で参加しましたがそれぞれ5位、7位に終わり、今回リベンジを期してエントリー部門も含めて検討した結果、1.9MHZ、14MHZもQRV可能なので、3バンドの総合力でチャレンジすることに決定しました。

・獲得目標

シングルオペマルチバンドB部門 1位

2012年度の入賞スコアー 1428ポイント目標

・改善、強化点

設備面での改善、強化項目は特にありません。 昨年は所用で途中2時間くらい運用できなかったのがフル参戦できるよう家庭内マッチングを含め配慮しました。

・準備

いつものコンテストと変わらず特に準備はなし。

いつものように実行計画書を作成

(コンテストルールの抜粋、昨年のスコア、目標スコア等記入)

コンテストソフトのCtestwinの マルチチェックファイルのバージョン等を確認

昨年のこのコンテストのログより パーシャルチェック用のファイルを作成

・コンテスト当日の行動

固定からの運用ですので、特に準備することはありませんでした。

・スタートから終了まで

主戦場は当然2日目の7MHzですが、作戦としては1日目の1.9MHz 3.5MHzで、できるかぎり頑張っ、翌日の14MHzの状況でバンド構成を決定するというこ、スタート

1日目 3.5MHz 順調に推移

1.9MHz 飛び悪く、聞こえる局数も少ないので早めに終了

2日目 14MHz なにも聞こえず この周波数の運用を断念

7MHz ひたすらワッチに努め、聞こえる局をひたすらコール

・反省点

期待以上の結果で大変満足しています。

7MHz終了1分前に たまたまワッチしていた周波数に宮津市の局が現れ 貴重なマルチがGETできたのは 大変ラッキーでした。

・次回参加の際のアドバイス

前回初参加のとき、CWから運用をはじめたのですが、開始直後この京都コンテスト特有のコンテストナンバーの受信に戸惑いました。今回はPHONEで開始してコンテストナンバーに慣れてからCWの運用を行いました。

■府外局シングルオペマルチバンドB部門 2位

JA7AMK 伊藤 清郎 様

・コールサイン

JA7AMK

・使用機材

リグ： FT-1011 100W

アンテナ： 半波長ダイポール (1.9, 3.5, 7)。3本いずれも不完全アンテナ。

パソコン： パソコンは使えず紙とペン

・なぜこの部門を選んだか

結果的に14と21で4局しかできなかったのでもともとバンド・モードともマルチ派です。

・獲得目標

特に設定はしてなくてマンネリと惰性。かぜの向くまま行き当たりばったりで。

・改善、強化点

14年ぶりぐらいでの参加でしたので特にありません。

・準備

体調管理、規約熟知、コンディション把握、アンテナ整備

・コンテスト当時の行動

時間割表とにらめっこ。ひたすら拾って拾ってCQは一度も出さなかったと思います。

・スタートから終了まで

順調に推移していたのですが、あろうことか15:00ころLC2局（コンテストには全く無関心）の来訪BKあり16:00すぎにお帰りになりました。今にして思えば・・・。
これが行当たりばったり効果と言うものでしょう。画竜点睛を欠く

・反省点

この京コンは、端から入賞など無理だと思っていたのですが、ここにきてベストを尽くしたのかと自問しているところです。

・次回参加の際のアドバイス

やればできます，常勝局はあなたの挑戦を待っているはずです。

■府外局シングルオペ 3.5MHz 部門 1位

JH1HZV 坂田 正信 様

・コールサイン

JH1HZV

・使用機材

リグ： FT-897DM

アンテナ： モービルホイップ (HF80CL)

パソコン： 自作機

・なぜこの部門を選んだか

ベランダ設置のモービルホイップで80mバンドがどこまで出来るか興味が
ありこのバンドにしました。

- ・ 獲得目標
ベランダ・ホイップなので「参加する」ことが第一の目標でした。あとは、今年に限り「ニューカマーマルチプレイヤー」をいただけるので、「何か起きないか」と思っていました。
- ・ 改善, 強化点
特にありません。
- ・ 準備
ベランダの基台(常設)にモバイルホイップを刺すだけです!!(1分で完了)
- ・ コンテスト当日の行動
19:00 ぐらいから 3.5MHz をワッチ、適当に各局の CQ を呼びまわってました。
- ・ スタートから終了まで
20:00~21:43 まで聞こえている局を呼びました。
10局 X 15 マルチ X 3 (ニューカマー!!!) でした。
- ・ 反省点
東京品川のベランダからホイップではこんなものだと思います。
機会があれば来年はどこかに移動してフルサイズのワイヤーで参加したいです。
- ・ 次回参加の際のアドバイス
ニューカマーの皆さん。「係数3」は大きいです。。。ぜひ参加しましょう。
京都府内各局 交信ありがとうございました。

■ 府外局シングルオペ 7MHz 部門 1位
JE6DND 林田 勝彦 様

・ コールサイン JE6DND

・ 使用機材

リグ : FTDX9000MP & VL-1000
アンテナ : 30mh 水平ダイポール
パソコン : EPSON NY2200S WINDOWS7

- ・なぜこの部門を選んだか
九州の地から京都の局を狙うには 7MHz しかないと思いました。・・・
- ・獲得目標
いっぱい QSO する!
- ・コンテスト当日の行動・スタートから終了まで
しらみつぶしにワッチして QSO する。7MHz では 13 時から 16 時までの 3 時間が開催時間帯です。3 時間必死でした。
- ・改善, 強化点 その他
短時間決戦型コンテストですので、間延びせず 集中力が持続できる参加時間は大変いいと思います。24 時間 48 時間も集中力が持続しません。

■府外局シングルオペ 7MHz 部門 2 位

JJ2DWL 井上 利一 様

- ・コールサイン
JJ2DWL
- ・使用機材
リグ : IC-7600
アンテナ : 7mH フルサイズ逆 V ダイポール
パソコン : 自作 A T 互換機
- ・なぜこの部門を選んだか
今年準備が間に合わず、乗り込み参加出来ませんでした。常置場所からだと季節的、距離的に選択肢はローバンドのみになってしまいます。
- ・獲得目標
とりあえず聞こえる局を呼ぶのみです。ただ、前年の府外 1 位の方の得点はチェックしておきました。
- ・改善, 強化点
特段変化点無く、いつもの装備で参加しました。
- ・準備
自宅シャックなので特別な準備は何もしていません。

- ・コンテスト当日の行動
15分前には一回バンド内ワッチして府内局と思われる局は一通りチェックしました。
 - ・スタートから終了まで
ひたすら忍耐で府内局を呼ぶのみ。
 - ・反省点
聞こえる局は呼び尽くしたつもりでしたが、上には上がられたようです。
 - ・次回参加の際のアドバイス
府外からですと、とにかくワッチしかないのでしょうね。
-

■府外局シングルオペ 14MHz 部門 1位
J03DDD 田中 大 様

- ・コールサイン J03DDD
- ・使用機材
リグ : IC-756ProIII
アンテナ : 3エレ
パソコン : Homemade
- ・なぜこの部門を選んだか
過去のデータの分析結果
- ・獲得目標
5局以上
- ・改善, 強化点
特になし
- ・準備
体調&スケジュール調整
- ・コンテスト当日の行動
S&P

- ・スタートから終了まで
ひたすら探し京都局が見つからず CQ
- ・反省点
特になし
- ・次回参加の際のアドバイス
どうしても地方コンテストは寂しくなりがちですが、皆さんで盛り上げていきましょ
う。P. S. 滋賀 TEST もよろしく願いたします。

■府外局シングルオペ 21/28MHz 部門 1 位
JA3IUB 中井 訓二 様

- ・コールサイン JA3IUB
- ・使用機材
リグ： IC-760PRO
アンテナ： 10Mh GP
パソコン：COMPAQ ARMADA 1500C
- ・なぜこの部門を選んだか
いつも時間的に丁度良いので 21MHz から参加しています。たまに、遅刻？して参
加することが、有りますが . . . 、2 時間程度が私にとっては丁度良いコンテストです。
長い時間はつらいですね。
- ・獲得目標
目標については全く気にしておりませんが、最低限 10 局以上を目標にしているところ
です。ただ、途中で Coffee BK をしたりすることもあるので . . . 目標達成が出来な
いこともあります。
- ・改善、強化点
改善点及び強化点についても、上記の通りですから何もしておりません。
- ・準備
全くしておりません。

- ・コンテスト当日の行動

通常と変わりなく、時間が来たら無線機の前に座ってコンテストに参加するパターンです。最初の30分ぐらいが比較的、局数が稼げるかな？と思っています。でも、雑音との戦いの時もあります。

- ・スタートから終了まで

始めはCWの局からQSOを開始、しばらくするとSSBの局、次にCQを出したりしました。

- ・反省点

無線を長い間していますが、新しいことにも挑戦しないと進歩派ありませんが・・・毎年のこと。

- ・次回参加の際のアドバイス

前回も書きましたが、これと言ったアドバイスが出来ず申し訳ありません。

■府外局シングルオペ 144MHz バンド 1位

JN3AN0 南 賢一 様

- ・コールサイン JN3AN0

- ・使用機材

リグ：144MHz ・ ・ IC-820

アンテナ：GP

パソコン：パソコンと ZLOG

- ・なぜこの部門を選んだか

日曜の午前中に参加でき、自局の設備から考えて、できるだけ多くの府内局と交信できるよう選びました。

- ・獲得目標

目標は決めず、できるだけ多くの府内局と交信できるようにしました。

- ・改善、強化点

特にありません。

- ・準備

マルチプレイヤーが複雑なので、規約を手元に置きました。

・コンテスト当日の行動

自宅から運用するので、いつもの休日の行動で、朝から犬の散歩をしました。

・スタートから終了まで

府外局は、府内局をできるだけ多く呼ばないといけないので、モードや周波数をスキャンし、ひたすらワッチアンドコールに努めました。

・反省点

次回も参加させていただき、多くの府内局と交信したいと思います。

・次回参加の際のアドバイス

アドバイスは特にありません。私は、国内各コンテストには許す限り出ていますが、自局の設備からすると入賞は至難のわざで、参加することを楽しんでいます。今回、このような結果を大変うれしく、また光栄に思っています。無線は大好きですので、続けたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

■府外局シングルオペ 1200MHz 部門 1 位

JA3XJT 久本 誠一 様

・コールサイン： JA3XJT/3

・使用機材

リグ： TR-50 (KENWOOD)

アンテナ： 21 段コーリニア, 19 エレ・ループ八木

パソコン： なし

・なぜこの部門を選んだか

1200MHz バンドを守りたい!!

・獲得目標

府外局 1 位

・改善, 強化点

一昨年は初参加で 1 位を獲得できたことから、去年は甘く見て「最初の 15 分間のみ参加」としたところ入賞を逃した。今年は最後までしっかり参加しました。

・準備

古いリグなので、予備機 2 台も含めて事前のチェックを入念に。

- ・コンテスト当日の行動

いつもの移動運用のごとく、バタバタと機材を車に積み込み、運用地点（大阪府枚方市の高台）には10分前に到着。大急ぎでセットし、時間終了後は直ちに撤去するゲリラ運用。

- ・スタートから終了まで

最初の15分程度が勝負。しかし、30分経過以降は新たな交信なし。

- ・反省点

もう少し短い八木を準備したい。

- ・次回参加の際のアドバイス

最後までしっかり参加すれば入賞できると思います。お相手頂きました各局、ありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。

府外局SWL部門 1位

JI1LHT 岩崎 全 様

- ・コールサイン JI1LHT

- ・使用機材

リグ：FT-817ND

アンテナ：自作 AWX（144MHz/430MHz 用 変形 AWX）

パソコン：ログは、自作 PC に Windows 付属のメモ帳でテキスト入力の上、
整理して『JARL コンテスト 電子ログサマリー作成ページ』から送信です。

- ・なぜこの部門を選んだか

ズバリ、貧弱な設備しかないためです。

- ・獲得目標

特になし。参加することに意義がある？（笑）

- ・改善、強化点

コンテストの参加目的の一つとして、CWの受信能力向上を目指しています。

少しでも向上していると良いのですが…

- ・準備

ログ用に、自作様式のテキストファイルを用意したくらいでしょうか？

メモみたいなものですが…

・コンテスト当日の行動

無理せず、楽しみました。

・スタートから終了まで

CWばかりでなく、電話の受信も行い、気分転換しながら得点につなげました。

・反省点

愛用の変形AWXアンテナは、意外とノイズが少なくて聞き取りやすいと思いますが、他に良いアンテナがあれば試してみたいです。

・次回参加の際のアドバイス

まさか入賞出来るなんて…参加していれば、こんなこともあるということですね。

『運』以外のなにものでもありませんが…

またSWL部門に限ってですが、集計には表計算ソフトが便利かと思います。

意見・コメント

サマリーシートの意見欄に記入されたコメントを収録しました。単純なケアレスミス修正、語句の統一を行いました。また、複数部門に参加されていて、ほぼ同じ内容のものについてはそのうちの1つを掲載しました。結果、コンテストレビューおよび参加証の送付希望、またSASE同封などについての記述は省略しました。次回も京都コンテストに参加していただくとともに、サマリーシートに御意見や御感想をお書き下さい。

■府内局シングルオペマルチバンド A 部門

JA3HC

ハイバンドの CONDX は余り良くなかった。集計は大変でしょうが電信部門が欲しいです。3日午後は所用で QRV できず。

JM3DUR

今年も多くの局と交信できました。ありがとうございました。

JM3GVH

山岳移動ランキング、ヤマラン相手ランキングのサービスや非常通信電波テストと兼ねて運用しました。

JP3FBA

去年 8 月に 1 アマを取って再開局しました。ポイントにはニューカマー multi を掛けています。

■府内局シングルオペマルチバンド B 部門

JA3QOS

今年も参加できました。1.9MHz の ANT が不調なのと、ハイバンドの局数が見込めないことからマルチBにしました。3.5,7,50MHz のつもりでしたが、予備の 2m の方が多かったので 50 に代えて 144MHz を入れました。自称 6m マンとしては寂しいかぎりです。50MHz のログはチェックログです。管内局、特にボランティア局は積極的に CQを出していただきたいと思います。

JH4PUL/3

受信したコンテストナンバーが規約に合わない交信は、受信したナンバーをそのまま記載した上で得点を 0 点としました。

■府内局シングルオペマルチバンド C 部門

JJ3CSH

天気がよく、比較的暖かい週末となったので、移動された方が多かったように思います。ただ V/UHF は、年々活気が無くなっていくような感じがします。昨年は送信ナンバーの記載ミスで失格になりましたので、今回は念入りに確認しました。ところで、失格者にも結果発表の通知メールを送っていただきたいと思います。昨年は通知メールが届かず、だいぶ経ってから自分で HP を確認しに行き、失格であることを知りました。

JR1UJX/3

初めて府内局部門に参加しました。関西の V/UHF の状況を知らぬままの参加でしたので、苦戦しました。430MHz 以下は 5W にて運用しました。

■府内局マルチオペマルチバンド部門

JA3YQD

JF3PLF(米国エクストラ級), JG3LDD(1アマ)

■府内局シングルオペ 1.9MHz 部門

JK2XXK/3

当日は 14 時過ぎまで仕事に追われ、自宅を出発できたのが 18 時過ぎ。宮津市まで行く予定を舞鶴市に変更するもスタートに間に合わず、43 分遅れでようやく参戦できました。意外と遠かった京都府北部でしたが、楽しいひとときを過ごすことができました。

JR3FOS

20m のワイヤに何とか波を乗せて QRV しましたが多くの局にコールいただきました。

■府内局シングルオペ 3.5MHz 部門

JI6DUE/3

今回は I35 と I1200 でログを提出します。来年も参加したいと思います。

JK3LZI

ボランティア番号の交換が大変でした。V のあとに数字のイメージが強く、数字とアルファベットの組み合わせは理解不十分で、コピーしてもらうのにとっても時間のかかる局が多くありました。改善が必要です。

■府内局シングルオペ 7MHz 部門

JA3IVU/3

実家のある南丹市へ移動運用しました。南丹市は合併して広くなりましたが参加局が少ない。

JG3GOM

集計お世話になります。久しぶりに固定からの参加でした。

JH3MKP

昨夜の3.5Mが小一時間しか出られず、1.9や144などもフルタイムで参戦出来ませんでした。唯一フルタイムで参加したこの7MHzでサマリーを提出します。久しぶりに皆さんに呼んでいただき感謝しながら楽しさで3Hが過ぎていました。

JH3QNH

7MHz コンディションは低調でした。

JI3OGI

CWスキルが低いのにランニングさせていただきました。各局にはご迷惑をお掛けいたしました。楽しませていただきました。

JK3LZI

今年は雪の心配(ワイヤーアンテナに雪がくっつく、SWR はバンザイ etc)もなく交信させてもらいました。山の上へ移動して・・・と思うのですが、雪がありこれはダメ。マルチバンド A or B で参加したいものです。丹後地方からはキビシイかも・・・。

JN3XEZ

今年は7MHzでRunningしてみました。府内及び全国の皆さま、QSO 頂きまして有り難うございました。

JO3AXC/3

久々の7メガでの参戦でした。長いコンテストナンバーの交換は大変ですが楽しめました。

JR3FOS

普段はCWメインですがSSBでもQRVしました。

JR3LSE/3

得点は考えずに、ただひたすらCQを出し続けてました。

■府内局シングルオペ 28MHz 部門

JH3BUM

今年は10mのみでした、6mも出たかったのですが時間が重なっているので、

JL3CRS

コンテスト運営お疲れさまです。今年も京都コンテストに参加する事が出来ました。多くの方と1年越しにお空で再会し、楽しみながら挑めました。

JN3XEZ

HF ハイバンドはマイペースのんびりモードでした。(例年通りか?) 唯一のトピックスは14MHzでWから呼ばれて"Five-Nine California!"にビックリしたことでしょうか? QSO 頂きました皆さま、どうも有り難うございました。

■府内局シングルオペ 50MHz 部門

JA3MIB/3

天気は最高でした。

JR2MIO/3

集計御苦労様です。ロケは良くなかったですが、それなりに楽しめました。

■府内局シングルオペ 144MHz 部門

JN3GYJ/3

144MHzシングルバンドでしたが府内局の割合が非常に少ない気がしました。

JO3GBD/3

集計お疲れ様です。コンテスト、楽しませていただきました。

JO3UBN/3

天候にも恵まれ楽しいコンテストでした。お相手下さった各局、有難うございました。来年もよろしく願いいたします。

■府内局シングルオペ 430MHz 部門

JA3MIB/3

次回もアンテナに工夫をして、楽しみたいと思います。

■府外局シングルオペマルチバンド A 部門

JA0IND/1

集計ご苦勞様です。

JA1CP

毎年楽しく参加させて頂いております。

JA3RSJ

概ねフルタイムで参加させて頂き有難うございました。いくつもの局長さんとマルチバンドでお世話になりました。TKS

JE3LDU

「16 進表記」、良くわかりませんでした。

JF2FIU

集計審査ご苦勞様です。今年もおかげさまで何とか「参加」できました。QSO して頂いた京都府内各局ありがとうございました。それからV/UHFで一生懸命呼んでいるのですが気づかれないこともしばしば・・・ぜひ2エリア方向にもアンテナを向けてくださいね hi

JH3QCO

今回は、21・28MHzにも参加したいと考えています。

JN3DMJ

1.9~430MHzまで、いつものように全て QRP で運用しました。7MHz CWにおいては、CQ 誌付録基板を使った自作機「あゆ 40」(0.3W)と、自作機「SST40」(2W)で運用しました。QSO 頂いた局ありがとうございました。

■府外局シングルオペマルチバンド B 部門

7L1FFH

コンテスト集計ご苦勞様です。今回初めて参加しました。慣れないコンテストナンバーで難儀いたしました。

7M3OER/1

僅かな時間でしたが、京都局を探しました。集計ご苦勞さまです。

JA5INF/1

取りまとめお疲れ様です。次回も参加しますので、よろしくお願い致します。

JA0BOP

よろしく処理下さい。

JA1DXW

GP で何とか頑張りました。

JA1HMK

周波数分割は良いのですが、ハイバンドはほとんど聞こえませんでした。見直しが必要かも？

JA1JUR

今年はマルチバンドにて参加してみました。よろしくお願い致します。

JA3QVQ/3

14M と 21M の京都局を狙って参加しました。4 局と交信が出来て喜んでます。

JA4BDY

府内局の参加が少なかったように感じました。もっと賑やかなコンテストになってほしい。

JA5CBU

昨年に続き2回目の参加です。楽しませていただきました。

JA7AMK

関東をこえてとなるとなかなかきびしいところ but 楽しさも倍増です。TXR 山本 OM マルチについての御親切なご説明大変ありがとうございました。得点よりマルチが上回ることのある楽しいコンテストでした。丸 9 年の空白からカムバックしたニューカマーです。15 時から突然の来客 BK のため涙をのむ。

JH1CHU

初めて参加しました。コンテストナンバーがややこしいですね。次回もがんばりたいと思います。

JH3IJF/3

電子ログ形式のマルチ計算。

JH4EYD

お世話になります。マルチの計算が間違っていたら?没にして下さい。

JH4JUK

後半は地域行事に出かけたので部分参加でした。

JH7UJU

集計審査ご苦労様です。14、21Mはチェックログとして送付します。

JI2GZC

3.5 & 7MHz CWで参加しました 3.5 は開始一時間はコンディションが悪く諦めていました後半に開けてきた感じでした。7の方は後半で参加できました。昨年より局数が少ないように感じました。

JR4PDP

各局さん、ありがとうございました。

■府外局シングルオペマルチバンド C 部門

JA3KYS/3

集計ご苦労様です。自宅近くから参加しました。参加局が少ないようですが各バンド楽しむことが出来ました。

JE5UMJ/3

来年も参加したいです。

■府内局マルチオペマルチバンド部門

JA3YAA/3

運用者 JE3KST 近澤里志(3アマ)、 JR3SZZ 三枝義典(1アマ)

JL3YJL/3

参加メンバー JA3CES 前田洋二、 JA3FAT 野村昭雄、 JF3EP U中川務 JO3QVT 藤林敏男、
ゲスト JA3KVT 銭谷喜代次

■府外局シングルオペ 1.9MHz 部門

JA1DFO

局数稼げず、残念でした。

JA2QVP

集計ご苦労様です。ノイズが多く大変でした。

JA9WWH/1

出力 5 ワット + モービルホイップで参加しました。ノイズのレベルが高く苦労しました。

JE1PMQ

初めて参加しました。

JH4FUF

久しぶりに 1.9MHz 用 ZEPP 様 ANT を引っ張り出しての参加でしたが、7QSO で残念でした。035 と 2 種目の
エントリーですが check ログはこの 1.9 の方に載せておきます。集計御苦労様です。

JM1LRA

集計お疲れ様です。

JP2XYT

集計お疲れ様です。ノイズが多く受信が大変でした。

JR2AIZ

例年並みの結果となりました。

JR2NTC

集計ごろうさまです。わずかな参加ですが、ログを提出します。よろしく願います。

■府外局シングルオペ 3.5MHz 部門

JA0DVE

7MHz Band は CHECK-Log で提出します。

JA1CCX

電信だけの参加になりました。

JA1WSE

参加局が少なかったようであり交信できなかった。コンディションが良くない状況で受信困難だった。

JA3SSB/1

CONDX 悪く多くの方とは交信できませんでしたが、コンテストに参加させて頂き楽しいひとときを過ごすことができました。有難うございました。73's

JA4GNK

参加できました。

JA7LLL

枯れ木も山の賑わいで、ログを提出します。

JE1GZB

次回も頑張ります。

JE7ENK/7

モービルホイップで出ましたが、楽しむことができました。

JF2FKJ

80mSSB で参加しました。

JG1BGT

マゴの世話で1交信しか出来ませんでした。

JG3CQJ

集計ご苦労さまです。3日はJARL和歌山支部総会に参加したことにより、3.5MHzのみの参加となりました。楽しくQSOを楽しむことができました。

JG3DIX

毎年参加だけは続けています。

JH1DAT/1

はじめての参加でした。20wでは少々苦しいですね。

JH1HZV

次回もがんばりたいと思います。

JH1OES

モービルホイップ+100Wで京都の方とどれぐらいナンバー交換できるのかに挑戦しました。ご迷惑をおかけしながらも2時間楽しむことができました。ありがとうございました。初めて参加しましたが、2時間は丁度良い長さですね。(ここ以降は私信扱いでお願いいたします。)なお、ナンバーでV029をお送り頂いた局がいましたが、確認してもV029と送信されたので、V29として提出します。

JH4FUF

コンディションも良かったのですが、乗り込み組も含めて府内局の参加が少なかったように思います。もっとPRするとか、電信と電話でそれぞれの交信を有効にするとか・・・妙案に期待します。集計御苦労様です。

JH8CLC/7

次回もがんばりたいと思います。

JI1UDD

集計ご苦労さまです。ログ提出します。

JJ2DWL

集計ご苦労様です。今年は固定からの参加となりました。

JJ8GFL

京都コンテストは初めての参加になるかと思えます。次回もがんばりたいと思います。

JK1DMT

今年も3.5MHzCWのみで参加させていただきました。

JL2PCI/3

集計ご苦労様です。タイミングが合わず局数がのびませんでした！

JR3AAZ

集計お世話になります。今年も、1.9と28にも参加させていただきましたが、得点の多い3.5と21でエントリーさせていただきます。KT各局QSO有難うございました。

JR4CTF

初めての参加となります。

JR6CSY

少ないQSOですがコンテストログを提出させていただきます。次回も頑張ります。

■府外局シングルオペ 7MHz 部門**7N2XHH**

去年よりも局数を増やすことができました。来年も今年以上に局数が増やせる様がんばりたいと思います。

JA0QD/1

初めて参加しました。コンテストナンバーとマルチが分かりにくいです。相性は(コンディション)は良かった。

JA1COP

ナンバーの簡素化と電信部門の新設をお願いします。

JA1IQK

普段なかなかつながらない京都府各局と交信できました、コンテストナンバーが複雑でボランティア番号が分かりにくかった、また得点に関係しない運用者のイニシアルは必要ないと思う。分かり易い短いコンテストナンバーへの変更を希望します。ログを提出します。

JA1OZT

入力の都合で、第二マルチは 14MHz の欄を利用しました。

JA1POS

QRP BH in 1993

JA1VVH

スタートが遅かったので少しの QSO でした。

JA1WSE/1

コンディションはまずまずの良い状況だった。ロケの良い山の上に移動し近畿方面をワッチ 7063 から 7120 辺を聞く限りでは京都府局が頑張っている様子が頼もしかった。この帯域でコンテスト叫ぶのはかなり度胸が要る。電信をもっと多用したほうがいいのだが コンテスト NR の判別が難しいためか 7010 から 7014 の狭帯域に僅かに聞こえるだけであった。

JA2NGN

楽しく参加させてもらいました。

JA3QG

電信オンリーでの参加でした。

JA3RAZ

次回もがんばりたいと思います。

JA3TU

結果を電子メールにて送付ください。

JA4AVO

相手局イニシアル 2 文字で府内局がありましたが、そのまま記入しています。運用地だけでよいのではないですか。複雑になるだけで、面倒です。

JA7AEM

1 時間だけ参加しました。

JA9XAT

80Mに参加するつもりでしたが、なんとスタート時間を22時と勘違い！参りました。すっかり意気消沈し、翌日の40Mでちょっと波を出しただけとなりました。モチベーションゼロで申し訳ございません。

JE1EQS

次回もがんばりたいと思います。

JF1ABZ/1

楽しく参加できました。

JF2CTY

来年もがんばります。

JG2QUM

QRP 部門も設定してください。

JH4EMK

毎年、コンテストレビューの入賞局の情報、伝播状況等の内容を楽しみにしております。

JH6WKF

コンテストナンバーがわかりづらい！

JH7OUW

楽しむことが出来ました。来年も宜しくお願い致します。

JH7UJI/7

7MHz だけでしたが京都コンテストに参加させていただきました。今年は CONDX が良くなかったため、7 エリアから京都府内局が遠かったです。

JI1ALP

短時間参加でしたがコンテストを楽しみました。

JI5DMN

中学時代の悪友の元気な(?)キーイングが今年も聞けました。

JJ1XQU

集計ご苦労様です。初めての参加です。マルチの計算合ってるかな。次回も元気で参加します。

JJ1XQU

集計ご苦労様です。

JJ2QXI

限られた時間での参加となりましたが、楽しませていただきました。記憶では、初参加になるか思います。zlog では第2マルチが自動カウントできないので、手作業で修正を加えました。メールのサブジェクトに関する記述などはリンク先のページに指定がありますが、規約の中で謳うべきだと思います(私の見落としでしたらお許しください)。

JK3TJM

常置場所からの運営でした。

JM2NWF

フルタイムでマルチで参加したかったです。

JN1BBO

帯域の狭い短縮 V-DP なので、SSB に出られずスコアアップは困難ですが、楽しめました。

JN4JJJ

コンテスト委員様集計御苦労様です。今回も楽しくコンテストに参加させて頂きました。

JO1EEQ

よろしくお願いします。

JR1USU/1

次回はがんばりたいと思います。

JR2LBF

次回もがんばりたいと思います。

JR4UCD/6

京都コンテストに初めて参加しました。イニシャルがコンテストナンバーとは面白いですね。

JR6HMJ/1

初参加です。NR交換戴いた各局ありがとうございました。今年も国内外コンテストで頑張ります。

■府外局シングルオペ 14MHz 部門

JO3DDD

今年も楽しく参加させていただきました。

■府外局シングルオペ 21MHz 部門

JA3IUB

雑音が多くて信号の弱い局の受信が厳しいです。今年は記念局が出ていなかった? のんびりとコンテストに参加しました。

JR3AAZ

集計お世話になります。今年も、1. 9と28にも参加させていただきましたが、得点の多い3. 5と21で エントリーさせていただきます。KT 各局 TNXs、

■府外局シングルオペ 28MHz 部門

JA3IUB

ノイズの中でのコンテスト参加ですが、目標の10局とQSO出来ました。少し時間が残っていましたが、根気がなくなりQRTしました。

■府外局シングルオペ 50MHz 部門

JJ3WPX

アンテナの調整を兼ねて参加させていただきました。

■府外局シングルオペ 144MHz 部門

JA3OLO

初めての参加です、次回はがんばりたいと思います。

JG2CNS/3

アクティビティが下がりました。足跡のみ残しておきます。

JI3MCM

TNX FB アリガトウ・QSO 楽しんでいます

JN3ANO

各局 交信ありがとうございました。

JO3RUL

次回も参加したいです。バンド毎に時間割をしてもらえると短時間で集中して QSO にはげむことができます。

■府外局シングルオペ 430MHz 部門

JG3DOR/3

JARL 奈良県支部のクラブ代表者会議のため、奈良県御所市へ向かう途中の短時間の移動運用でした。

JH4RCK/3

次回もがんばりたいと思います。

JP3KPJ/3

短時間でしたが、移動で楽しませてもらいました。

■府外局シングルオペ 1200MHz 部門

JR3CNQ

今年もまた 1200MHz バンドでエントリーです。2400MHz も出たのですが相手局がおりませんでした。残念でした。

■府外局 SWL マルチバンド部門

JA2-9315

今年も参加できて FB でした。

■チェックログ

JP3DVB/3

初めて参加しました。とにかく頑張りました。コンタクトありがとうございました。来年も参加したいと思います。

編集後記

第 57 回京都コンテストのコンテストレビューいかがでしたでしょうか。今年のコンテストも多少雪がちらついたものの、天候にも恵まれました。

去年は事前の PR 不足もあり、ログの提出数が減少しましたが、今年はその反省点も活かし、事前にコンテスト開催のメールをお送りしました。その成果があったためか、今年のコンテストログ提出者は第 55 回の 285 局を上回り、近年では最高の 297 局にログ提出を頂きました。

また、コンテスト入賞者によるコンテスト参戦記ですが、今年も多くの方に寄稿いただきました。ご協力ありがとうございました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

来年ご参加いただく方々に、このコンテストレビューが京都コンテストを楽しむための一助になることを願っています。また、ご提出いただきましたログのコメント等、皆さんから頂いたご意見をもとに来年はさらにコンテストを楽しんでいただけよう規約変更を含め、検討していきたいと思っています。

では来年の京都コンテストでお会いできることを楽しみにしています。

第57回京都コンテスト コンテストレビュー

発行：JARL 京都府支部, JARL 京都クラブ

(kt-testqa@ja3yaq.ampr.org)

発行日：2013 年 8 月

編集者：J I 6 D U E 野原 英則

J O 3 U B N / K N 2 Q 西 潔